DiGiCo

DIGITAL MIXING CONSOLE CATALOG

2024年11月版

圧倒的な音響処理能力で、音質、操作性、
拡張性のすべてにおいて他を凌駕してきた“ SD Series ”。

ワールドツアーのスタンダードコンソールの地位を確立してもなお前進を続け、
複雑かつ大規模化するライブサウンドに余裕をもって対応できる、
“ Quantum Series ”が登場。

より速く、より効率的で、よりパワフルな
ミキシングの次なるステップへ。

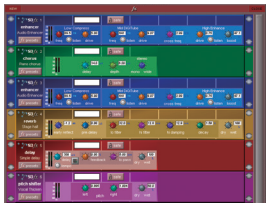
CONTENTS


DiGiCo
DiGiCo

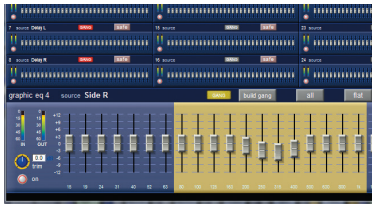
Quantum Series
SD Series

DiGiCo is the best tools you can lay your hands on.

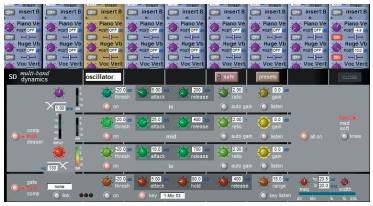
■ 全モデル共通の操作性　一度操作を覚えてしまえば、他のモデルも迷うことなく操作可能。



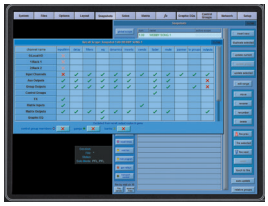
Effect Rack
ステレオエフェクターがロード可能。



GEQ Rack
フェーダーがセンターにあり、常に0dBの位置を確認可能。



Multi-band Compressor
帯域可変式のマルチバンドコンプレッサーを3つ装備。

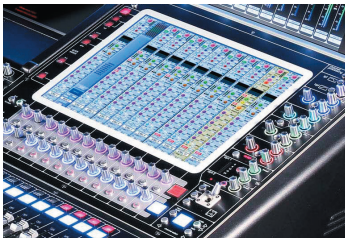


スナップショット
データーの保存や呼び出しを瞬時に行える。
数は無制限。

全モデルを通して、ダイナミクスの調整画面などすべてのコントロールが同じデザインで構成されているため、一度操作を覚えてしまえば他のモデルも迷うことなく操作できます。カスタムバンクやマクロスイッチなど操作を効率化する優れた機能を搭載しており、快適なオペレーションを実現。エフェクト群も豊富で、ダイナミクスにはコンプ、ゲートにディエッサーとダッカーを追加。Waves社の豊富なプラグインエフェクトも追加できるオプションも用意しており、多彩な音作りが可能です。

●データーはUSBメモリーに記録でき、バックアップや他のコンソールへの転送が簡単です。

●PCでシステム設定を組めるほか、リモートコントロールが可能なiPad用のソフトウェアも無償でダウンロード可能。(http://www.digico.biz) **(→p.07)**



大型のタッチスクリーン
フェーダーに対応する12系統を表示。

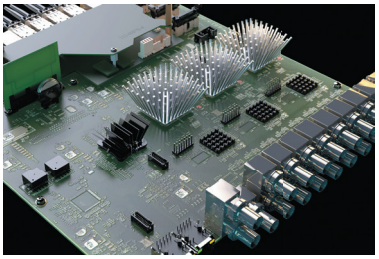
全モデルに大型のタッチスクリーンを搭載して、視認性を向上しています。Quantum 852は21.3インチ、Quantum338/225には17インチ、その他のモデルは15インチを採用。フェーダーに対応する12系統のチャンネルセクションを一度に表示します。
フェーダーは、不用意に動かないようにブレーキがかかる100mmのタッチセンサー式を採用しています。

■ 圧倒的な音響処理能力

Quantum Series

複数のFPGAを連動させた驚異的なパワーとスピード

STEALTHの第4世代にあたるQuantumは、第7世代の最新FPGA(Field Programmable Gate Array)をもとに開発されたテクノロジー。以前は、不可能だったFPGA の複数レイアウトを可能にし、フラッグシップモデルのQuantum852には5つ、それ以外のQuantumコンソールには3つのFPGAを連動させています。圧倒的な処理能力をさらに向上させ、すべてのAUXセンドに入力チャンネルと同等のEQやダイナミクスの機能を装備した「Nodal Processing」をはじめ、チャンネルストリップの新しいアルゴリズムを採用した「Mustard Processing」や「Spice Rack」、「True Solo」など、革新的なプロセッシングも追加され、柔軟なミキシングが行えます。



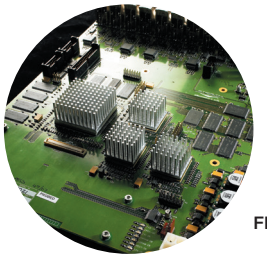
Quantum Seriesのエンジンボード

SD Series

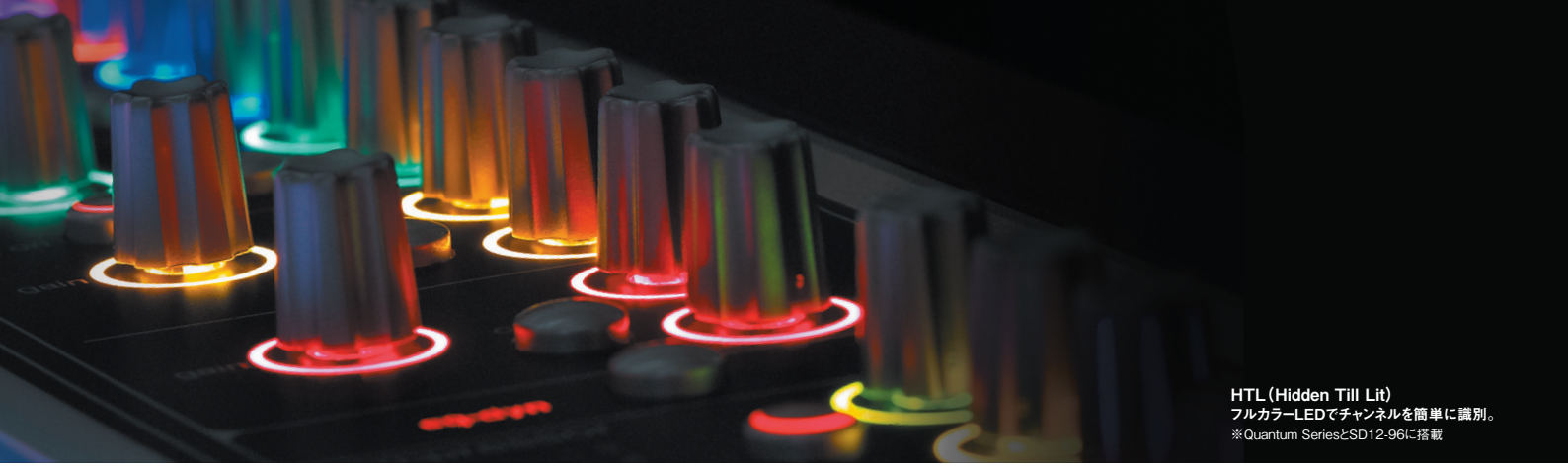
"STEALTH Digital Processing(ステルス・デジタルプロセッシング)"による圧倒的な処理能力

フローティングポイントで動作するFPGAテクノロジー「Super FPGA」をベースに、飛躍的に効率を向上させる高性能チップ「TigerSHARC」を搭載。圧倒的な処理能力とフローティングポイント演算による広大なヘッドルームやダイナミックレンジは、音質全般を上質にし、品位を高めます。ライブ、レコーディング、ブロードキャスト、どのシーンにおいてもオペレーターの意図するサウンドを実現します。

●ブロードキャストやシアターに適した機能を追加するバージョンアップも可能です。



FPGAとSHARC

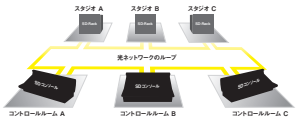


HTL（Hidden Till Lit）
フルカラーLEDでチャンネルを簡単に識別。
※Quantum SeriesとSD12-96に搭載

■ 全モデル対応のI/Oラック群

I/Oラックは、DiGiCoの全モデルに対応します。入出力はカード方式を採用しており、現場の規模や用途に合わせてカードを選択します。多様な選択肢から必要なカードを自由に選んで、オペレーター好みのラックに仕立てられます。ラックは、MADIやオプチカルでコンソールと接続してネットワークを構築。SD-Rack Seriesでは、オプチカルで最大14台、コンソールを最大5台まで接続可能。システム内で最大504chの入出力を96kHzのリダンダントループでつなぎます。
※AVIOMやDanteのネットワークに対応したカードも用意しています。

アプリケーション例

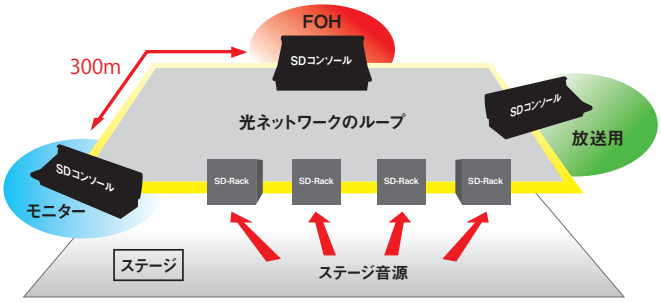


最大5つのコントロールルーム
（それぞれに1台ずつのSDコンソール）

光ネットワークシステムで機材を接続
光ネットワークで別の場所にあるスタジオとQuantum/SD Seriesのコンソールを接続できるので、タスクに応じた柔軟なシステムを構築できます。最大でQuantum/SD Seriesコンソールを5台、SD-Rackを14台まで接続可能。504chのI/Oを共有できます。

アプリケーション例

SRと放送の同時運用
3台のQuantum/SD Seriesのコンソールと4台のSD-RackをOPTOCOREの光ネットワークのループでつなぎ、リダンダント機能を強化。2Gシステムで、コンソール間の距離は最大300m。3台のQuantum/SD Seriesコンソールは、ローカルI/OやSD-Rackに入力された信号を共有し、それぞれ独自のミキシング操作を行えます。SD-Rackの出力は、ループ上にあるどのコンソールにも自由に割り当てられます。光ネットワークシステムで既存のシステムにコンソールを増設することでサブミックスとローカルの音源を共有・分配が可能。

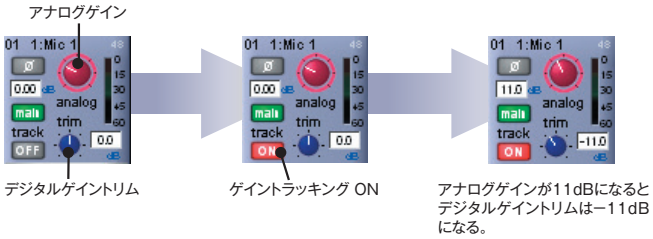


■ ゲイントラッキング

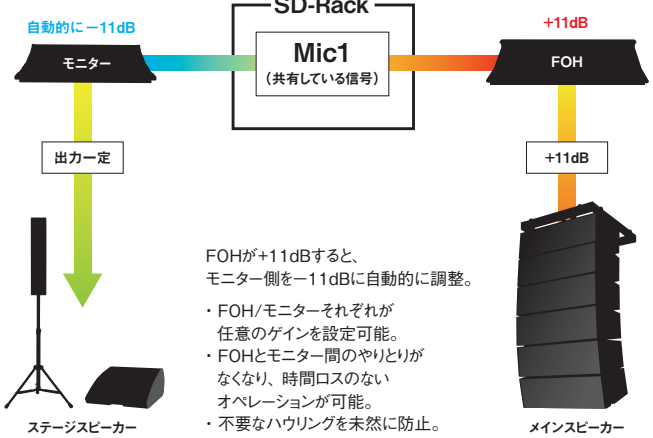
デジタルゲイントリムがアナログゲインと密接に関係して動作するDiGiCo特有の機能。
全モデルに搭載されており、ラックの入力を共有しているコンソール間のゲイン調整に有効。

コンソールのモニター表示

動作範囲は、±40dBの範囲です。



実際のシステム



例えば、ある入力をFOHのコンソールとモニターコンソールで共有している場合、今までのシステムだとFOHがアナログゲインを0dBから+11dBにするとモニターも+11dBになるため、オペレーター同士が連絡を取り合ってゲインの調整をする必要がありました。

ゲイントラッキングは、FOHがアナログゲインを+11dBあげると、それに反するようにモニターのデジタルゲイントリムが自動的に−11dB動き、モニターの出力のレベルを一定に保ちます。

それぞれが任意のゲインを設定できるため、オペレーター間でのやりとりがなくなります。時間ロスのない的確なオペレーションが可能になり、不要なハウリングを未然に防ぎます。

ゲイントラッキングの機能は、1台のミキサー内でも使用可能です。
例えばFOHミキサーでステージモニターもコントロールする場合（いわゆる表返し）、同じ入力信号を二つのチャンネルに分けてゲイントラッキング機能を使用することで、それぞれのコントロールが可能になります。同様に同じ信号を多くのマトリクス出力などにルーティングする場合もバス側のコントロールだけではなく入力チャンネル側でのコントロールも可能になります。

現在では多くの機能のひとつとなっているゲイントラッキング機能ですが、DiGiCo社では前世代の機種から搭載しており、実際の現場で利用されてきています。他メーカー製品でも同様の機能を持つようになった今日でも、世界標準機となったDiGiCoミキシングコンソールの現場力を示す機能のひとつとなっています。

■ Quantum特有の機能

第7世代の最新FPGAをもとに開発されたQuantumは、96kHz標準の高音質はもちろん、最新のプロセッサー技術とシステム設計を活用しています。以前は不可能だったFPGAの複数レイアウトを可能にしたことにより、連動した一連のパワーとなって動作。他の追随を許さない圧倒的な処理能力をさらに向上させ、最大2,000チャンネルを96kHzで458のプロセッシングパスへ送信できる高い処理能力を実現しています。

STEALTH Digital Processingで搭載されたSHARCは第4世代に入り、Quantumに搭載された3つのSHARCはFPGAの補間アルゴリズムを制御。あらゆるエンジニアが違いを感じる、温かみのあるアナログ感を生み出しています。

Nodal Processing

Nodal Processingは、すべてのAUXセンドに入力チャンネルと同等のEQやダイナミクスの機能を割り当てられる新しい機能です。つまり、AUXセンドを独自のチャンネルに変えて、それぞれのセンドに1チャンネル分のプロセッシングを加えられます。

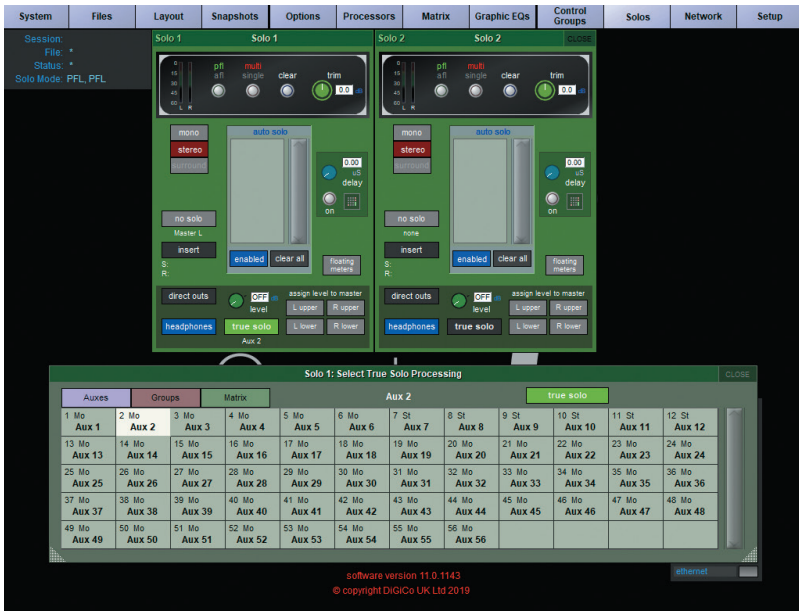
それぞれのアーティストに合わせた細やかなミックスが実現できるため、劇場などで使用される小型のパーソナルモニター・ミキサーのような役目を果たします。

True Solo

True Soloは、Nodal Processingをベースにモニターエンジニアのニーズにフォーカスして開発されました。

入力がソロになったとき、TrueSoloパネルでアーティストの出力バスを選択すると、出力処理がエミュレートされ、アーティストが聞いているのと全く同じように音声を聞くことができます。

どのように聞こえるかを推測することなく、正確なモニタリングが可能です。Nodal Processingと組み合わせることで、すべてのモニターエンジニアがクリエイティブなミキシングを提供できる、究極のツールセットとなります。



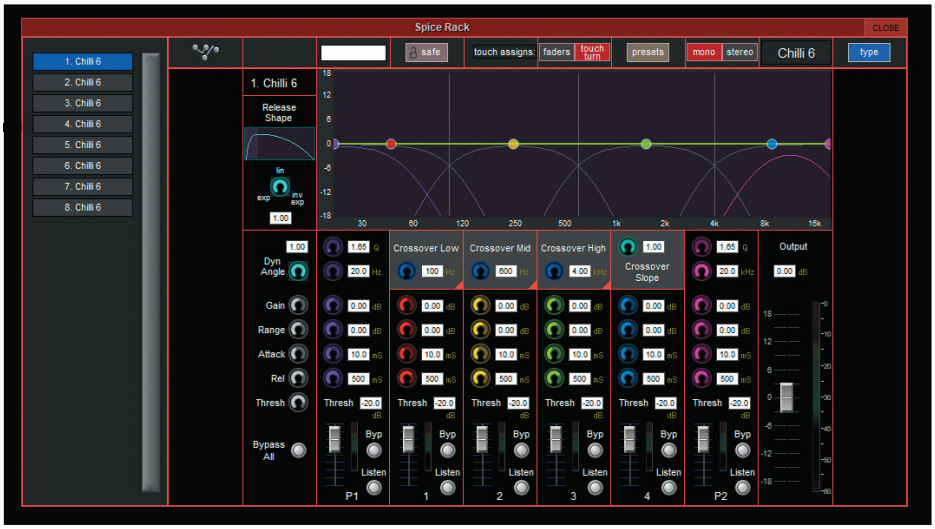
Mustard Processing

Mustard Processingは、チャンネルストリップの新しいアルゴリズムです。標準のSDプロセッシングと組み合わせて使用でき、2つのプリアンプ、オールパス・フィルターを含む4バンドEQ、4種類のコンプレッサー、ゲート/ダッカーから選択して既存のチャンネルストリップに追加できます。

Spice Rack & Chilli6, NAGA6

Spice Rackは、内部のFX(ディレイ、エンハンサー、コーラス、ピッチシフター、リバーブ)とは別に追加される高機能プロセッシングです。Chilli6とNAGA6は、どちらも設定したスレッショルドを超えた信号に動作し、周波数ごとにコントロールが可能。

- Chilli6は、インプット/アウトプットチャンネルストリップへ自由にインサートできる6バンドのマルチバンド・コンプレッサー/エクスパンダー。
- NAGA6は、6つのパラメトリック・バンドを備えたマルチバンドダイナミックEQ。



iPad用ソフトウェア

Quantum APP / SD APP / S APP

ダウンロードフリー

Available on the App Store

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア

■ ワイヤレスでコンソールを制御するためのiPad用アプリケーション。
ステージや客席などで、実際に音を聞きながら遠隔操作が可能。

主な機能

- **チャンネル設定**：±48V、位相、アナログゲイン、デジタルトリム、チャンネルディレイ、インサートポイントのON/OFF、メーター
- **ミックス**：チャンネルレベル、Main/Alt入力、パン、ミュート、ソロ、フェーダーレベル、チャンネルプリセット、メーター
- **フィルター/EQ**：4バンドEQ、HPF/LPF、ダイナミックEQパラメーター、プリセット
- **ダイナミクス**：すべてのダイナミクスパラメーター
- **AUX**：センドレベル、ON/OFF、パン
- **バスルーティング**：バスへの入力またはグループチャンネルのアサインメント
- **マクロ**：コンソール上でOSCマクロと定義されたマクロ機能へのアクセス
- **スナップショット**：新規インサート、リコール、アンデュー、アップデート、リネーム、削除、ノート表示
- **マトリクス**：センド、ON/OFF、マトリクス入力レベル、プリセット
- **グラフィックEQ**：32フェーダーと各ユニットのON/OFF、全バンドのフラット化、プリセット
- **保存**

Quantum APP　SD APP (SD Core2)　S APP

Quantum 8 52

超高速、超高解像度。
大型ライブサウンド用、DiGiCoコンソールのフラッグシップモデル。

Quantum852

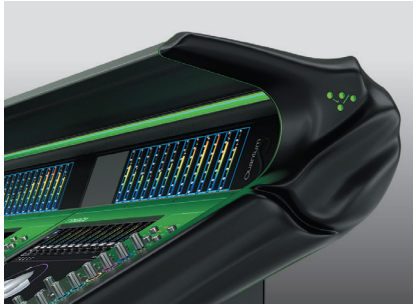
Quantum852-WS（-HMA/-NC/-ST）

Quantum852

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）	サンプリングレート
384	最大192 （AUX / GRPの総計）	2 （True Solo付き）	最大64入力×64出力	36	96kHz / 48kHz、 32bit

超高速プロセッシング

- 最新第7世代FPGAと次世代SHARC DSPプロセッサーを搭載。FPGAは従来のQuantumの3基をさらに上回る5基を搭載。驚異的なパワーとスピードのさらに上を行くハイエンドモデル。
- 強化されたアルゴリズムによってオーディオクオリティが向上し、処理能力が飛躍的に向上。近年の複雑化するミキシングにも余裕を持って対応可能。
- Quantum特有のプロセッシング（→p.06-07）も存分に活用可能。
  ·Nodal Processing:384　·True Solo:2
  ·Mustard Processing:128　·Spice Rack:32モノ/16ステレオ



瞬時のコントロールを可能にする視認性の高いタッチスクリーン

- 21.3インチの大型タッチスクリーンを2面配置。1000nitの高い輝度をもつTFTタッチスクリーンでLCDバックライトスクリーンを搭載。屋外の太陽光の下でも高い視認性を確保。
- コンソール内のすべてのコントロールと完全に連動し、リアルタイムの情報を高解像度で提供。オペレーターのコマンドを瞬時に反映。

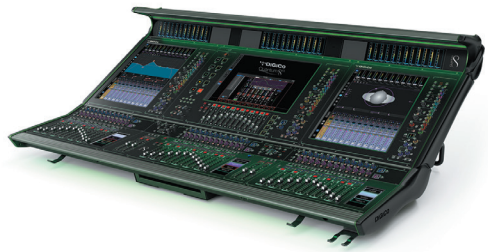
あらゆる現場や状況を想定したコンポーネント設定

- Quantumエンジンを2基搭載しており、PCソフトやコントロールなどすべてをリダンダント化。
- ローカルI/Oに32bit AD/DAコンバーターを標準搭載。音の再現性を高め、高解像度のサウンドを提供。
- MADI入出力は、48kHzで8系統または96kHzで4系統のリダンダント構成が可能。
- オプチカル端子を標準装備。最大14台のSD-Rackを接続して504chのループが可能。1008chと28ラックが稼働できるデュアルループのオプションも用意。
- DMIカード専用スロットを各エンジンに2つ搭載。Danteモジュールや最新のAMMモジュールなど、ツアーやイベントの需要に応じた設定を構築可能。
- デュアル電源搭載。
- HTLによる機能自動識別も健在。各ロータリー・エンコーダーを自動でカラーコード化するため、必要なコントロールを即座に識別可能。機能的なうえ、サーフェスを美しく彩色。
- 背面のトップエンドにライトグリーンのLEDを搭載。アーティストとのコミュニケーションに有効。

1. AES Sync
2. VIDEO REFERENCEクロックI/O
3. ワードクロックI/O
4. MADI I/O
5. DMIカードスロット
6. USBポート
   左:2.0　右:3.0
7. Displayport
8. Ethernet RJ45ポート
9. オプチカルI/O
   左:ループ1
   右:ループ2(オプション)
10. Wavesの端子(オプション)
11. 32bit ローカルI/O
    A:Mic/Line Input
    B:Line Output
    C:AES/EBU I/O
12. エンジンA&B
13. GPI
14. SAMPTE I/O
15. VIDEO I/O
16. MIDI I/O
17. GPO
18. 電源
    ホットスワップ可能

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

Quantum 852 T



Quantum852T *for Theatre*

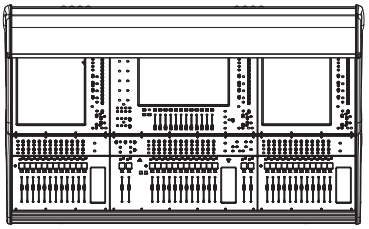
劇場や演劇に特化した機能を備えたQuantum852

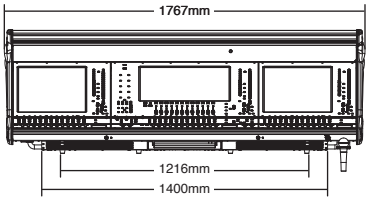
■ UKロンドンの劇場やミュージカルのニーズを取り込んだ機能を豊富に装備。

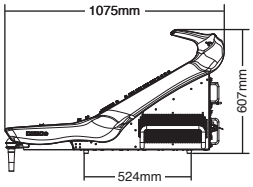
※オプションのアップグレードキットが必要です。

DIMENSION 寸法図

■ **Quantum852**



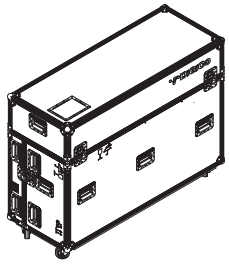




質量：120kg

OPTION オプション

■ **FC-Q8：**Quantum852用フライトケース。



■ **Q852-OPT-HMA：**
Quantum852用オプチカルアップグレードキット。HMA端子。

■ **Q852-OPT-NC：**
Quantum852用オプチカルアップグレードキット。OpticalCon端子。

■ **Q852-OPT-ST：**
Quantum852用オプチカルアップグレードキット。ST端子。

■ **Q8-SCRIPT：**
Quantum852用スクリプトトレイ

■ **Q852-TUPG：**
Quantum852用シアターモデルへのアップグレードキット。

■ **FOURIER-Q8：**
Quantum852用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **WAVES-Q8：**
Quantum852用Waves SoundGridアップグレードキット。

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
DQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29

※Dante接続用のDMIカードが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「Quantum APP」を用意。 ▶ P.07

Quantum 7

第7世代FPGAデバイスを使用して開発された驚異的なパワーとスピードを備えたハイスペックモデル

Quantum7

Q7-56EXHD-32B with SD-Rack（HMA）／Q7-WS（-HMA／-NC／-ST）

※既存のSD 7をQuantum7にアップグレードが可能です。詳細はお問い合わせください。

Quantum7

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）	サンプリングレート
256	最大128 （AUX/GRPの総計）	2 （True Solo付き）	最大48入力×48出力	36	96/48kHz、24bit

圧倒的な音響処理能力

- 第7世代のFPGAをベースに開発された高性能なデジタル･ミキシング･コンソール。圧倒的な音響処理能力をさらに拡張。驚異的なパワーとスピードでミキシングが可能。
- Quantumエンジンの内部では、最大2,000チャンネルを96kHzで688のプロセッシングバスに送信可能。新しいGTXポートは6.6GHzで動作し、高速のデータ送信を実現。
- 3基の第4世代SHARCがFPGAの補間アルゴリズムを制御。暖かいアナログ感覚を生成。

革新的なプロセッシング

- Quantumエンジンによる圧倒的な処理能力により、「Nodal Processing」「True Solo」「Mustard Processing」「Spice Rack」の革新的なプロセッシング機能（→p.06-07）を使用可能。
  - ･Nodal Processing:256　･True Solo:2
  - ･Mustard Processing:64　･Spice Rack:16モノ/ 8ステレオ

リダンダント機能を標準装備

- Quantumエンジンを2基搭載。コントロールコンピューター、オーディオエンジン、ソフトウェアのアプリや重要なワークサーフェスのコントロールなど、すべてがリダンダントシステム上で複製。
- デュアル電源搭載。

超大型システムも可能にする構成力と豊富な入出力系統

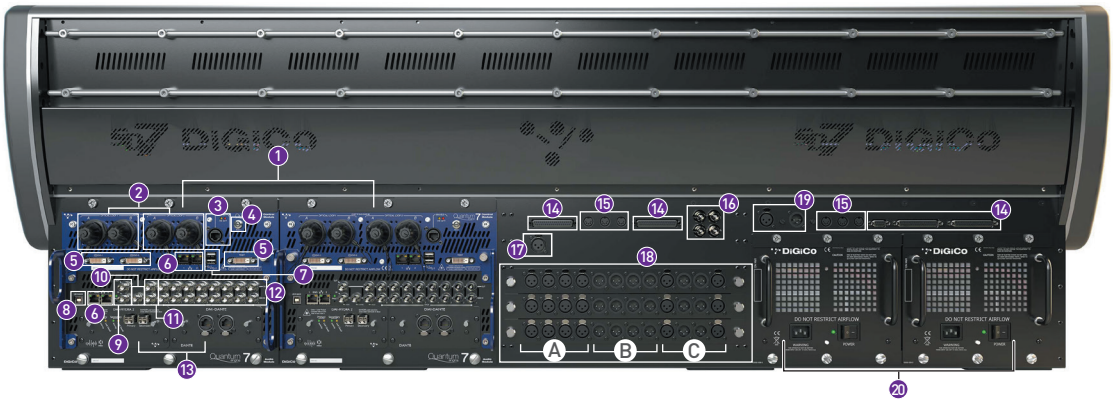
- 標準でオプチカル端子を装備しており、最大5台のSDシリーズコンソールと最大14台のSD-Rackを接続して504chの大規模システムを96kHzで構築可能。オプションでデュアルループにすれば、1008chのIOを共有できる超大型システムが可能。
- UB MADIを内蔵。48ch（@48kHz）のPCレコーディングやプレイバックが可能。
- DMIカードを装着できるスロットを装備。現場に合わせた設定が可能。
- アップグレードキットなしでWaves Soundgridに対応可能。

OSC（Open Sound Control）

- DiGiCoコンソールのサーフェスから、KLANG:technologiesなどOSCプロトコルに対応するデバイスの外部制御が可能。

■ 平常時

■ バックライト点灯時



❶ エンジンA&B
リダンダント用のエンジンを搭載
❷ オプチカル I/O
左:ループ1、右:ループ2(オプション)
HMA端子、OpticalCon、ST端子より選択
デュアルのリダンダントループを組むことが可能
❸ Wavesの端子
❹ PCリセットボタン
❺ DVIポート
1:Overview、2:未使用、3:テスト
❻ Ethernet RJ45ポート
❼ USBポート
❽ UB MADI
❾ AES/EBUクロック I/O
❿ VIDEO REFERENCE クロック I/O
⓫ ワードクロック I/O
⓬ MADI I/O
⓭ DMIカードスロット
⓮ GPIO
⓯ MIDI インターフェース
⓰ VIDEO I/O
⓱ パラレルトークバックマイク
⓲ I/Oモジュール
A:Mic/Line Input
B:Line Output
C:AES/EBU I/O
⓳ SAMPTE I/O
⓴ 電源
ホットスワップ可能

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

Quantum 7T

Quantum7T *for Theatre*

劇場や演劇に特化した機能を備えたQuantum7

■ UKロンドンの劇場やミュージカルのニーズを取り込んだ機能を豊富に装備。

※オプションのアップグレードキットが必要です。

Quantum 7B

Quantum7B *for Broadcast*

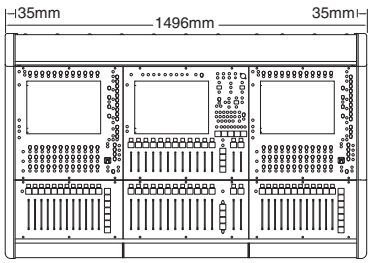
放送中継の機能をもちあわせたQuantum7

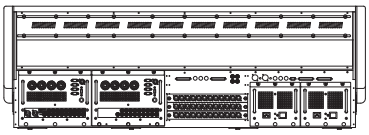
■ Quantum7の標準機能5.1chサラウンドにミックスマイナス、スピーカーセレクトなどのブロードキャスト固有の機能を追加。

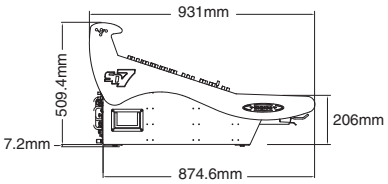
※オプションのアップグレードキットが必要です。

DIMENSION 寸法図

■ **Quantum7**







質量：141kg

OPTION オプション

■ **EX007 Quantum**

Quantum7上で一度に制御できるチャンネル数と実質フェーダーを拡張するユニット。2つの画面を搭載し、メーターや機能はQuantum7と同じ。経済的なCAT6ケーブルで100m延長でき、Quantum7のリモートコントローラーとしても利用可能。
W976×H509×D931mm、80kg
※オプションでフライトケースも用意しています。(FC-EX007)

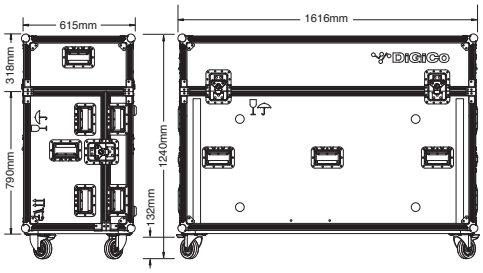
■ **Q7-SCRIPT：**
Quantum7用スクリプトトレイ。

■ **FOURIER-Q7：**
Quantum7用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **Q7-TUPG：**
Quantum7用シアターモデルへのアップグレードキット。

■ **Q7-BUPG：**
Quantum7用ブロードキャストモデルへのアップグレードキット。

■ **FC-Q7：** Quantum7用フライトケース。



RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
DQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29

※Dante接続用のDMIカードが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「Quantum APP」を用意。 ▶ P.07

Quantum 5

視認性の高いディスプレイを3面搭載。
頻繁にアクセスする機能を中央に集め、操作性を向上。

Quantum5

Q5-56EXHD-32B with SD-Rack（HMA）／Q5-WS（-HMA／-NC／-ST）

※既存のSD5をQuantum5にアップグレード可能です。詳細はお問い合わせください。

Quantum5

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）	サンプリングレート
256	最大128ch （AUX/GRPの総計）	2 （True Solo付き）	最大36入力×36出力	36	96/48kHz、 24bit

視認性と操作性を高めた高品位モデル

- 視認性の高い15インチの大画面を3面搭載。チャンネルやシステム全体の把握がしやすくレイヤー操作も少なくなるため、無駄のないオペレーションが可能。
- 2つのメーターブリッジは、各入出力チャンネルだけでなく、モノ、ステレオ、LCR、5.1chなどのシグナルレベルも表示可能。
- 頻繁にアクセスするマクロキーやスナップショットを中央部分に集中。ミックスポジションから至近距離でのオペレーションを実現。

圧倒的な処理能力と豊富な機能によるミキシング

- Quantumエンジンを搭載し、最大2,000 チャンネルを96kHzで458のプロセッシングバスへ送信できる高い処理能力を実現。
- 複数のオペレーターによる操作も可能で、複雑なシステムにも対応。
- Quantumの革新的なプロセッシング（→p.06-07）を使用可能。
  ·Nodal Processing:128
  ·True Solo:2
  ·Mustard Processing:48
  ·Spice Rack:12モノ/ 6ステレオ
- SoundGrid Waves のポートも標準で装備。

静音設計

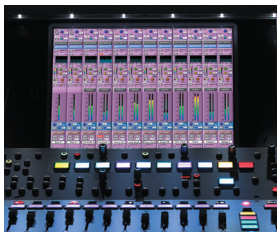
- ホットスワップ可能な2つのPSUはヒートシンクによる放熱方式を採用し、さらなる静音性を実現。客席の近くにも設置が可能。

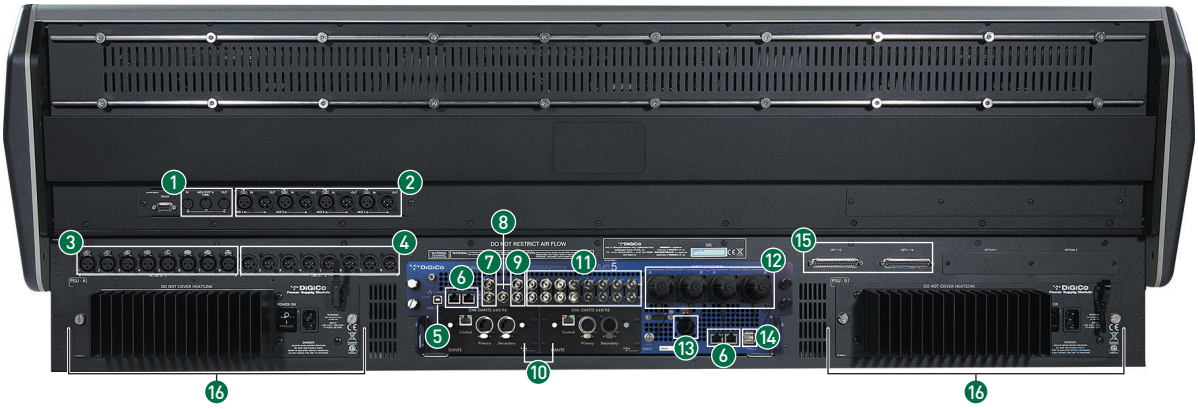
美しさ際立つサーフェス

- エンコーダーの周囲に配したLEDにより、チャンネルを明確に識別可能。屋外の太陽光の下でも優れた視認性を保ち、暗い場所で輝くフルカラーのサーフェスは美しさの極み。

OSC（Open Sound Control）

- DiGiCoコンソールのサーフェスから、KLANG:technologiesなどOSCプロトコルに対応するデバイスの外部制御が可能。





1. MIDI インターフェース
2. AES/EBU I/O
3. Mic/Line Input
4. Line Output
5. UB MADI
6. Ethernet RJ45ポート
7. AES/EBUクロック I/O
8. VIDEO REFERENCEクロック I/O
9. ワードクロック I/O
10. DMIカードスロット
11. MADI I/O
    96kHz時には4系統の
    リダンダントが可能
12. オプチカルI/O（左:標準/右:オプション）
    HMA端子、OpticalCon、ST端子より選択
13. Wavesポート
14. USBポート
15. GPIO
16. 電源
    ホットスワップ可能

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

Quantum 5B

Quantum5B *for Broadcast*

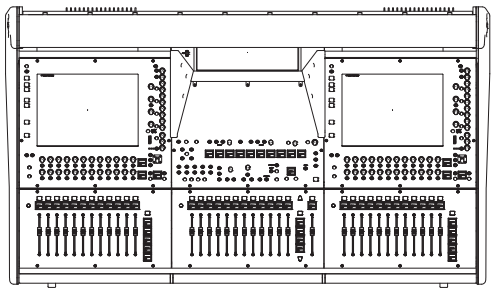
放送中継の機能をもちあわせたQuantum5

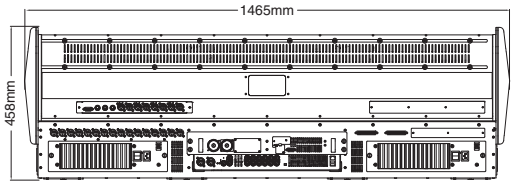
■ Quantum5の標準機能5.1ch サラウンドにミックスマイナス、スピーカーセレクトなどのブロードキャスト固有の機能を追加。

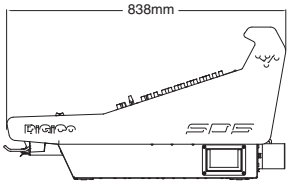
※オプションのアップグレードキットが必要です。

DIMENSION 寸法図

■ **Quantum5**



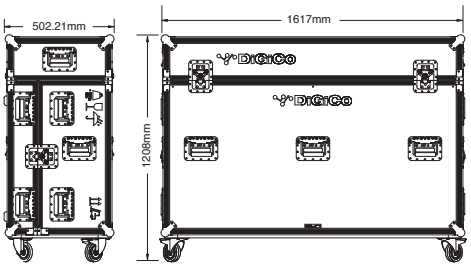




質量：116kg

OPTION オプション

■ **FC-Q5**：Quantum5用フライトケース。



■ **Q5-BUPG**：
Quantum5用ブロードキャストモデルへの
アップグレードキット。

■ **FOURIER-Q5**：
Quantum5用Dante I/Oアップグレードキット。

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
DQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29

※Dante接続用のDMIカードが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「Quantum APP」を用意。 ▶ P.07

Quantum 338
Quantum 326

**操作性に優れた3画面搭載モデルに加え、2画面のコンパクトモデルが登場。
32bit AD/DAコンバーターを標準搭載し、
レベルの高いミキシングをスマートにこなす高品位モデル。**

Quantum338

Quantum338 system with KLANG(HMA)／Quantum338-WS with KLANG(HMA)
Quantum338-WS(-MADI／-HMA／-NC／-ST)

NEW Quantum326

Quantum326-WS(-HMA/-NC/-ST)

Quantum338／Quantum326

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式(VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ)	サンプリングレート
128	最大64 (AUX/GRPの総計)	2 (True Solo付き)	最大24入力×24出力	24	96/48kHz、 32bit

レベルの高いミキシングをスマートに

- Quantum338は、3面のタッチスクリーンと38フェーダーを搭載。128入力、64バス、最大24×24マトリクスを96kHz標準でのフルプロセッシングが可能。Quantum326は338と同じ性能をコンパクトな2画面26フェーダーにサイズダウン。
- 32ビットのハイビットレートをもつAD/DAコンバーターを背面のローカルI/Oにも標準で搭載。音の再現性を高め、より原音に忠実なサウンドを提供。
- Quantumの革新的なプロセッシング(→p.06-07)を使用可能。
  ·Nodal Processing:64　·True Solo:2
  ·Mustard Processing:36　·Spice Rack:8モノ/ 4ステレオ

優れた視認性と操作性

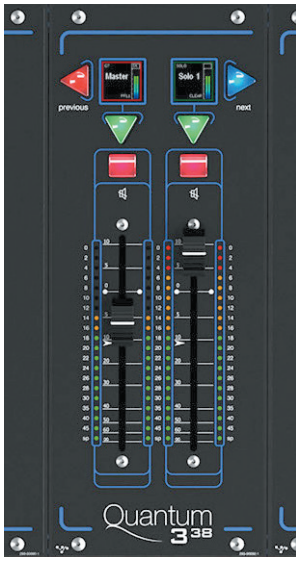
- 各タッチスクリーンは17インチ。1000nitの高い輝度で屋外の太陽光の下での視認性を確保。長く突き出した庇のようなフロントトップが影をつくり、目の負担を軽減。
- 各画面に12のチャンネルストリップを配し、ひと目で全体の把握と直感的な操作が可能。
- 中央画面をマスター画面に切り替えるボタンをマスターセクションに搭載。ワンタッチで切り替えられるので、マスターと各チャンネルを効率よく操作可能。
- サーフェス上にはHTLも健在で、フルカラーで明瞭に機能を区別。
- 背面のトップエンドに、ターコイズブルーのLEDを搭載。野外フェスなど複数のコンソールを使用する環境での識別が容易で、アーティストとのコミュニケーションに有効。

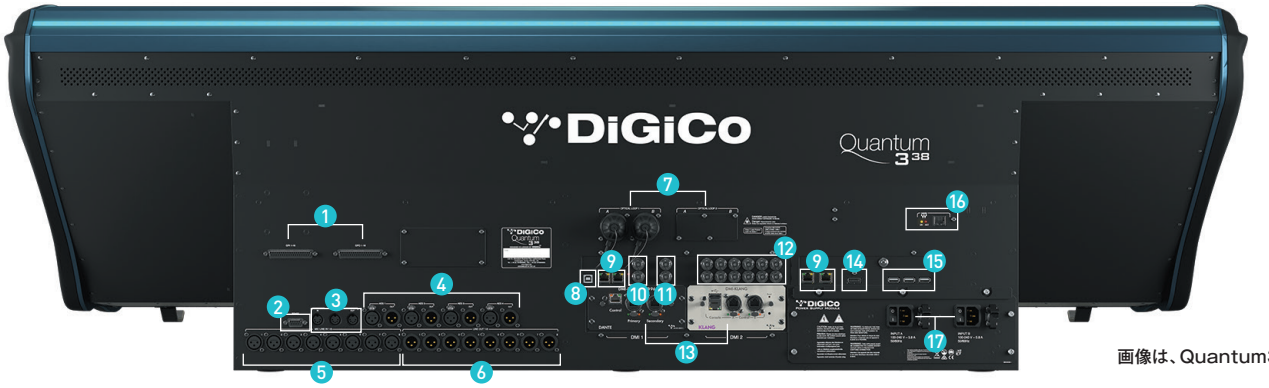
マルチコンソールによる大規模システムの中でも活躍

- QuantumやSDコンソール、I/Oラックとの互換性を持っており、最大504chの入出力を共有可能。オプションでオプチカルコネクターを装備できるので、オプチカルループで構築された96kHzのリダンダントにも対応可能。
- DMIスロットにKLANGカードを組み込んだモデルも用意。KLANGの立体的なテクノロジーとNodal ProcessingやTrue Soloを活かし、IEMの現場を快適に。
- 48ch(@48kHz)のPCレコーディングやプレイバックを簡単に行えるUB MADI搭載。

ユーザーフレンドリーな装備

- フロントのアームレストの下に、ライトバーを追加。コンソールの下での作業に重宝。
- ヘッドホンは2つ同時に利用でき、ボリュームも別々にコントロール可能。
- バスパワー専用のUSB ポートを左側のヘッドホンジャック横に装備。リモートコントロールやイヤモニなどで現場には不可欠となった各種デバイスの充電に便利。





画像は、Quantum338

1. GPI/GPO
2. RS422
3. MIDI
4. AES

32bit ローカル I/O
5. Mic/Line Input
6. Line Output

7. オプチカル I/O
左:ループ1、右:ループ2
(HMA端子、OpticalCon、ST端子より選択)

8. UB MADI
9. Ethernetポート(切替)
10. AES/EBU クロック I/O
11. ワードクロック I/O
12. MADI I/O

13. DMI カードスロット
14. Display port
15. コンソール USB ポート
16. Waves 端子(オプション)
17. デュアル電源

UPGRADE VERSION

Quantum 338T　Quantum 326T

画像は、Quantum338T

Quantum338T *for Theatre*
Quantum326T *for Theatre*

劇場や演劇に特化した機能を備えたQuantum338/326

■ UKロンドンの劇場やミュージカルのニーズを取り込んだ機能を豊富に装備。

※オプションのアップグレードキットが必要です。
※Pulseアップグレード付き

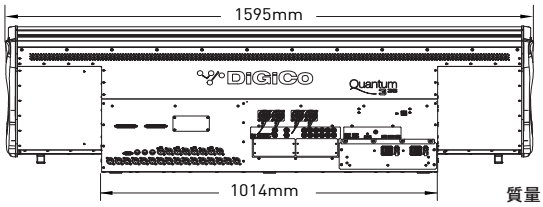
Pulse *Software*

Quantum338/326用有償アップグレード

■ 入力チャンネル:156
バス:72
Mustard Processing: 48
Nodal Processing:72

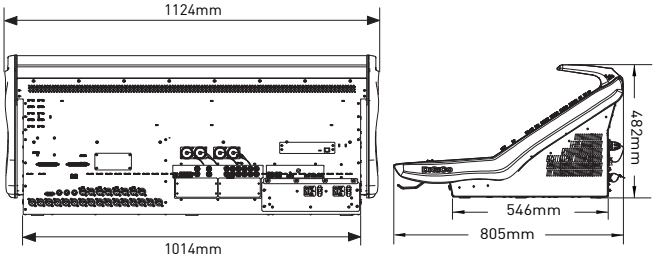
DIMENSION 寸法図

■ **Quantum338**



質量：70kg

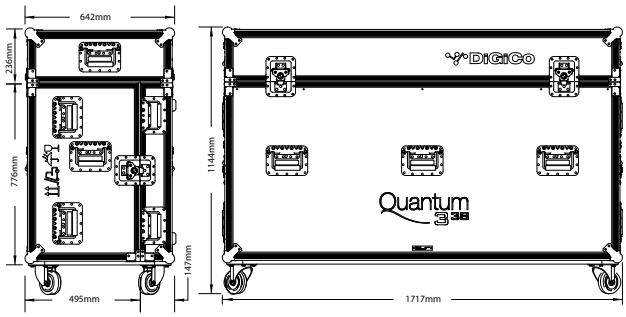
■ **Quantum326**



質量: 52Kg

OPTION オプション

■ **FC-Q338：**Quantum338用フライトケース。



■ **FC-Q326：**Quantum326用フライトケース。W1251×H1151×D646mm

■ **Q338-OPT-HMA：**
Quantum338用オプチカルアップグレードキット。HMA端子。

■ **Q338-OPT-NC：**
Quantum338用オプチカルアップグレードキット。OpticalCon端子。

■ **Q338-OPT-ST：**
Quantum338用オプチカルアップグレードキット。ST端子。

■ **FOURIER-Q3：**
Quantum338、326用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **WAVES-Q3:**
Quantum338、326用Waves SoundGrid アップグレードキット。

■ **Q3-TUPG：**
Quantum338、326用シアターモデルへのアップグレードキット。

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
DQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29

※Dante接続用のDMIカードが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「Quantum APP」を用意。 ▶ P.07

SD TEN

96kHzプロセッシングによるハイグレードなオペレーション。先進の拡張性で最大504chをループ可能。

SD Series ***SD10***

SD10 with SD-Rack 32B（HMA）／SD10-WS（-MADI／-HMA／-NC／-ST）

SD10 *Core2*

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）	サンプリングレート
144	64 （AUX/GRPの総計）	2	最大24入力×24出力	24	96/48kHz、 24bit

高解像度の音響処理によるクリアな音質

- “ステルス･デジタルプロセッシング”を採用。（→p.04）
  高品位な音質とスムーズな操作性を実現。
- サンプリングレート96kHzの高い解像度による原音に忠実で明瞭度の高い音質を実現。

大規模ライブSRも余裕を持って対応可能な入出力系統

- 入出力拡張用のSD-Rackを使用すると最大14台、SD10を含むSDシリーズコンソールを最大5台接続して入出力504chにアクセス可能な大規模システムを96kHzで構築可能。
- 豊富なバス系統を獲得。8バンドPEQ、ディレイ、コンプレッサー、ゲートの他、マスターセクションには24系統の32バンドGEQ、24系統のコントロールグループを備えています。
- 64のバスは、グループまたはAUXバスとして設定可能。マトリクスを使用する際に、マスターバスを含めグループバスやAUXバスの減少は皆無。
- ソロバスも2系統あり、モニターコンソールとしても活躍可能。

軽量設計

- 移動やセッティング時の負荷を軽減する60kgの軽量設計。

リダンダントを可能にするエンジンを用意

- SD10とミラーリングするリダンダントエンジン「SD10-RE」をオプションで用意。EthernetケーブルでSD10に接続し、任意のフォーマットでオーディオラックに接続すると、完全なエンジンのリダンダンシーが提供可能。確実なシステム運用をさらに堅固に。

OSC（Open Sound Control）

- DiGiCoコンソールのサーフェスから、KLANG:technologiesなどOSCプロトコルに対応するデバイスの外部制御が可能。

1. オプションでWavesにアップグレードした際に搭載
2. GPIO
3. オプションでオプチカル端子の搭載可能
   HMA、OpticalCon、STより選択
4. ライト端子
5. MIDI インターフェース
6. AES/EBU I/O
7. Mic/Line Input
8. Line Output
9. 電源
   ホットスワップ可能
10. AES/EBUクロック I/O
11. ワードクロック I/O
12. MADI インターフェース
    48kHz時には2系統のリダンダントが可能
13. VGAポート
14. Ethernetポート
15. USBポート

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

SD10 T *for Theatre*

劇場や演劇に特化した機能を備えたSD10

■ UKロンドンの劇場やミュージカルのニーズを取り込んだ機能を豊富に装備。

※オプションのアップグレードキットが必要です。

SD10 B *for Broadcast*

放送中継の機能をもちあわせたSD10

■ SD10の標準機能に5.1ch サラウンド、ミックスマイナス、スピーカーセレクトなどのブロードキャスト固有の機能を追加。

※オプションのアップグレードキットが必要です。

OTHER VERSION 別モデル

SD10-24

SD10-24-WS-MADI

※オプチカルに対応したモデルも用意しています。

フェーダー数を減らしてよりコンパクトに

■ SD10と同じ機能を持たせ、フェーダーを25本に集約。スペースの限られたライブハウスや効果卓にも最適。

REDUNDANT ENGINE

SD10-RE

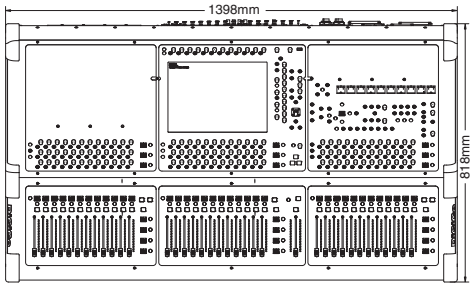
リモートフェーダー付SD10用リダンダントエンジン。

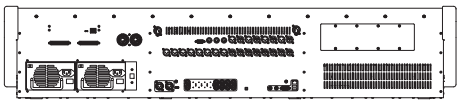
■ オーディオラックに接続して完全なエンジンのリダンダンシーを提供。

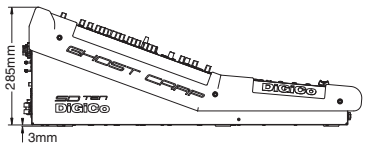
■ モニターやマウスと接続可能。

DIMENSION 寸法図

■ **SD10**

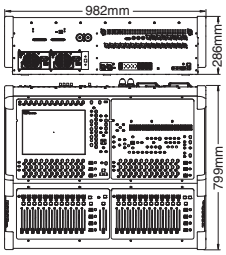






質量：60kg

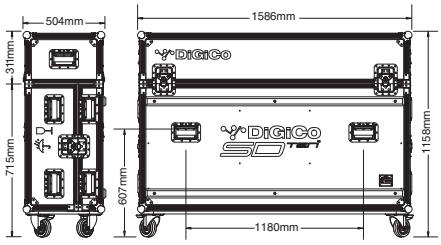
■ **SD10-24**



質量：45.2kg

OPTION オプション

■ **FC-SD10：**SD10用フライトケース。



■ **SD10-OPT-HMA：**
SD10用オプチカルアップグレードキット。HMA端子。

■ **SD10-OPT-NC：**
SD10用オプチカルアップグレードキット。OpticalCon端子。

■ **SD10-OPT-ST：**
SD10用オプチカルアップグレードキット。ST端子。

■ **SD10-BUPG：**
SD10用ブロードキャストモデルへのアップグレードキット。

■ **SD10-TUPG：**
SD10用シアターモデルへのアップグレードキット。

■ **FOURIER-SD10：**
SD10用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **WAVES-SD10：**
Waves SoundGrid アップグレードキット。

■ **FC-SD10-24：**
SD10-24用フライトケース。

■ **SD-RR-PSU：**
リモートPSUラックキット。
※PSUは付属していません。

■ **PSU-SPX-1-MOD：**
シングルPSU。

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29
D-Rack ▶ P.29

※オプションのLBBが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「SD APP」を用意。▶ P.07

SD12 96

小型軽量で高音質、高性能。
しかも、2画面構成。
マルチコンソールシステムの中でも活躍。

SD12-96 with SD-Rack 32B-MADI

SD Series ***SD12-96***

SD12-96 with D2-Rack／SD12-96 with SD-Rack 32B(-MADI／-HMA)／SD12 -96 with SD-Rack 32B+SD MINI Rack／SD12-96-WS

SD12-96

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式(VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ)	サンプリングレート
96	48 (AUX/GRPの総計)	モノ/ステレオ×2	最大12入力×8出力	12	96/48kHz、24bit

2画面を搭載し、視認性と操作性を向上

- 15インチのタッチスクリーンを2面搭載。ひと目で全体の把握ができ、直感的に素早いオペレーションが可能。片方をセットアップやマスター画面として使用しながら、もう一面で入力チャンネルをオペレーションする、といった使い方が可能。左右それぞれの画面で別々のオペレーターが操作するといった使い方も可能。
- ライトニングバーやエンコーダーの周囲をフルカラーLEDで彩るHTL(Hidden Till Lit)を採用。屋外でも視認性を保ち、暗い場所で輝くサーフェスは機能美を超えた美しさ。また、ダイナミクスのゲインリダクションメーターも追加。

高性能を軽量コンパクトに

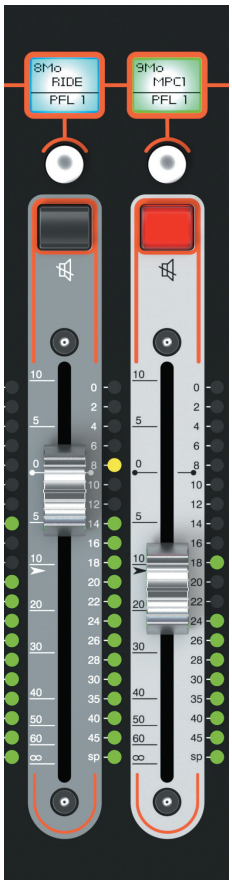
- "ステルス・デジタルプロセッシング"(→p.04)の圧倒的な処理能力は複数のオーダーも瞬時に処理。ストレスなく快適なオペレーションが可能。
- サンプリングレート96kHz標準。原音をより忠実に再現できる能力を余すところなく発揮。
- デュアルのリダンダントループを可能にするオプチカル端子のスペースを用意。

OSC(Open Sound Control)

- DiGiCoコンソールのサーフェスから、KLANG:technologiesなどOSCプロトコルに対応するデバイスの外部制御が可能。

マルチコンソールシステムの中でも活躍

- 他のSD-SeriesやI/Oラックと互換性あり。認識可能チャンネル296から任意のチャンネルを選択して運用。
- 入出力それぞれ48ch※のPCレコーディングやプレイバックを簡単に行える"UB MADI"を内蔵。USB2.0を使用してPCに接続。
  ※サンプリングレート48kHz時
- オプションでオプチカルにも対応可能。



1. 電源
2. DVIポート
3. コンソールUSBポート
4. Ethernetポート
5. DMIスロット
6. UB MADI
7. ワードクロックI/O
8. MADIインターフェース
9. GPI/GPO
10. RS422
11. MIDIインターフェース
12. AES/EBU I/O
13. Mic/Line Input
14. Line Output

※オプションでオプチカル端子の搭載可能
HMA、OpticalCon、STより選択
ループ1、ループ2の両方に搭載すれば、デュアルのリダンダントループを組むことが可能。

DMI CARDS DMIカード

■ オプションで入出力拡張用のDMI（DiGiCo Multichannel Interface）カードを用意しています。任意のフォーマットに変換する多様なカードを用意しており、I/Oラックへの接続や用途に合わせて選択可能です。背面のDMIカード用のスロットに入れて使用します。

※DMIカードの詳細はp.34参照

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

SD12T

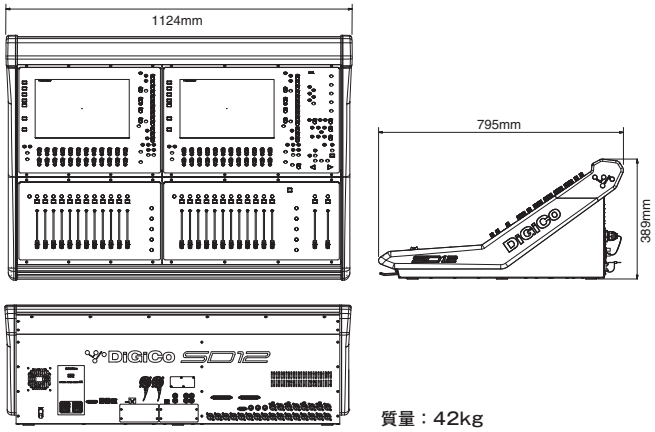
SD12-96T *for Theatre*

劇場や演劇に特化したSD12-96

■ UKロンドンの劇場やミュージカルのニーズを取り込んだ機能を豊富に装備。

※オプションのアップグレードキットが必要です。

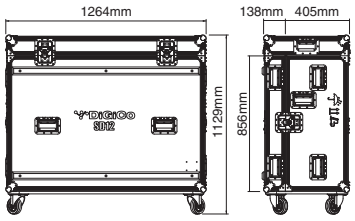
DIMENSION 寸法図



質量：42kg

OPTION オプション

■ **FC-SD12**：SD12用フライトケース。



■ **SD12-OPT-HMA** ：
SD12用オプチカルアップグレードキット。HMA端子。

■ **SD12-OPT-NC** ：
SD12用オプチカルアップグレードキット。OpticalCon端子。

■ **SD12-OPT-ST** ：
SD12用オプチカルアップグレードキット。ST端子。

■ **SD12-TUPG** ：
SD12-96用シアターモデルへのアップグレードキット

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
DQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29
D-Rack ▶ P.29

※オプションのMOD-DMI-MADI-Cが必要

※Dante接続用のDMIカードが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「Quantum APP」を用意。 ▶ P.07

Quantum 225

ライブから設備用まで幅広いアプリケーションに使用できる、汎用性の高いハイパフォーマンスモデル。

MQ-Rack

Quantum225

Quantum225 with SD-Rack32B（MADI）／Quantum225 with MQ-Rack／Quantum225 with DQ-Rack／Quantum225-WS

Quantum225

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）	サンプリングレート
72	最大36 （AUX/GRPの総計）	2 （True Solo付き）	最大12入力×12出力	12	96/48kHz、 24bit

ライブから設備用まで使えるハイパフォーマンスモデル

- Danteに対応したDQ-Rackのセットモデルは、AV機器を使用したリモート会議システムやAoIPネットワーク環境に対応できる設備用システムとして活用可能。
- ツアー用インフラとして定番のMADI接続用のMQ-Rackのセットも用意。
- ホールや劇場、仮設イベントでFOHやモニター用として単体運用することはもちろん、マルチコンソールによる大規模システムの一角を担うことも可能。

Quantumのパワーをコンパクトで堅牢なサーフェスに凝縮

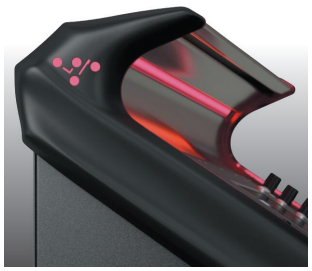
- Quantumエンジン搭載の高性能。上位機種に搭載されている革新的なプロセッシング（→p.06-07）を使用可能。
  ·Nodal Processing:32　·True Solo:2
  ·Mustard Processing:24　·Spice Rack:6モノ/3ステレオ
- サンプリングレートは96kHz標準の高品位。クリアで鮮やかなサウンドを実現。
- PCレコーディングやプレイバックを容易に行えるUB MADIも内蔵。
- 入出力拡張用のDMIカードも多数用意しており、任意で選択可能。
- デュアル電源搭載。
- オプションで、オプチカルやWavesにも対応可能。

付属のブラケットで左側のサーフェスをカスタマイズ

- 付属のブラケットで左側のサーフェスにラップトップPCやスクリプトトレイなどを取り付け可能。モニターを取り付ければデュアル·スクリーンに。左バンクのフェーダーのチャンネル画面やプラグインの概要画面の表示も可能に。
- マウントブラケットは、クイックリリースピンで素早く簡単に脱着ができ、確実に固定。高さと角度が二段階で変更可能。

優れた視認性と操作性

- 解像度が高く視認性に優れた17インチのタッチスクリーンを搭載。
- 1000nitの高輝度で、屋外の太陽光の下でも優れた視認性を確保。
- 中央画面をマスターと各チャンネルに即座に切り替えるボタンをマスターセクションに配置。効率良い操作が可能。
- エンコーダー周囲をフルカラーで明瞭に機能を区別するLEDも健在。
- 背面のトップエンドにはワインレッドのLEDを搭載。野外フェス現場などでの識別に有効。



1. オプチカル I/O
   左:ループ1、右:ループ2
   (HMA端子、OpticalCon、ST端子より選択)
2. UB MADI
3. Ethernetポート(切替)
4. Word Clock Sync
5. MADI I/O
6. DMIカードスロット

ローカル I/O

7. Mic/Line Input
8. Line Output
9. Waves 端子(オプション)
10. Display port
11. コンソール USB ポート
12. AES/EBU入出力
13. MIDI
14. GPI/GPO
15. デュアル電源
16. ケーブルダクト

UPGRADE VERSION

Pulse *Software*

Quantum225用
有償アップグレード

■ 入力チャンネル:96
バス:48
Mustard Processing:36
Nodal Processing:48

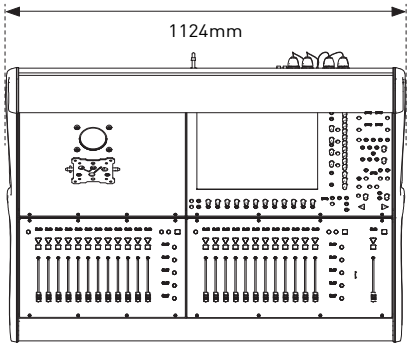
with KLANG : technologies

左のサーフェスパネルにKLANG Technologiesの「KLANG:kontroller」(→p.40)をマウントして、クリエイティブで臨場感あふれるモニタリング・ソリューションにすることも可能。

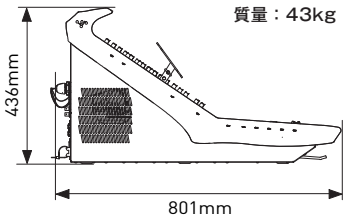
※DMIカードスロット(上記⑥)にDMI-KLANGカードの装填が必要。

MOD-DMI-KLANG
(→p.34、39)
64chのイマーシブミックスを16人のミュージシャンに配信可能。

DIMENSION 寸法図

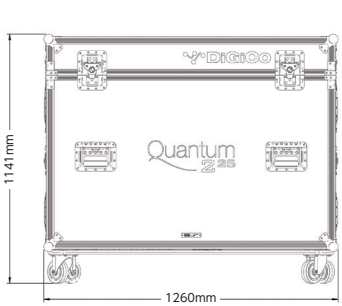


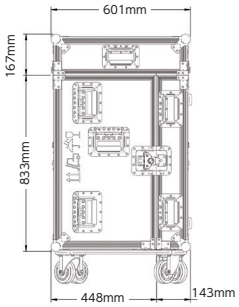
質量:43kg



OPTION オプション

■ **FC-Q225**:Quantum225用フライトケース。





■ **Q225-OPT-HMA**:
Quantum225用オプチカルアップグレードキット。
HMA端子。

■ **Q225-OPT-NC**:
Quantum225用オプチカルアップグレードキット。
OpticalCon端子。

■ **Q225-OPT-ST**:
Quantum225用オプチカルアップグレードキット。
ST端子。

■ **MOD-Q225-TRAY**:
外部ディスプレイ/PCマウントブラケット(VESA規格)
※本体に付属

■ **FOURIER-Q2**:
Quantum225用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **WAVES-Q2**:
WAVES SoundGridアップグレードキット。

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
DQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29
D-Rack ▶ P.29

※Dante接続用のDMIカードが必要

※オプションのLBBが必要

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「Quantum APP」を用意。 ▶ P.07

SD9

ラックを標準仕様化してシステムを簡潔に、コストパフォーマンス高く提供。

SD Series ***SD9***

SD9 with D-Rack／SD9 with dual D-Rack

SD 9 *Core2*

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式(VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ)	サンプリングレート
96	48 (AUX/GRPの総計)	2	最大12入力×8出力	12	96/48kHz、 24bit

ラックを標準仕様化

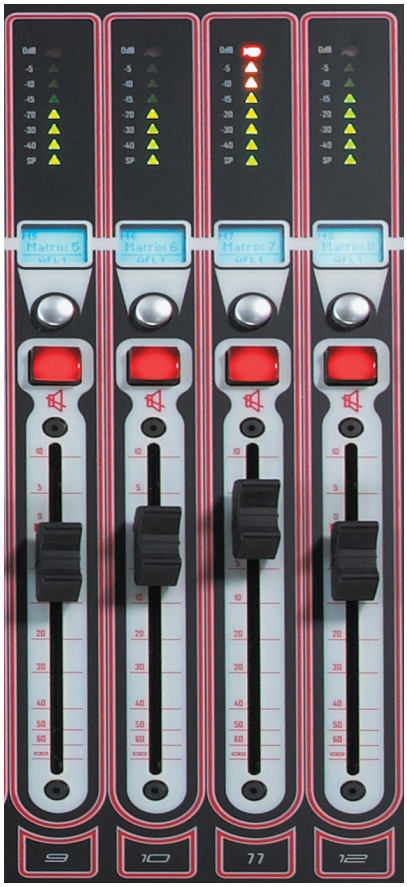
- 入出力を集約するD-Rackと、コンソールの制御を行うサーフェスの2つで構成。必要なシステムを簡潔にまとめられます。
- サーフェス、D-Rackともに予備電源を標準で搭載。突発的な電源の不具合にも対応可能。
- 1台のサーフェスにつき、D-Rackは2台まで接続可能。
- CAT5ケーブル(75m)付属。
- オプションで長距離伝送が可能になる光ネットワークに対応可能。

高性能をコンパクトに収めた デジタル・ミキシングコンソール

- "ステルス・デジタルプロセッシング"を採用。(→p.04)
  上位機種とまったく同じスムーズな操作性を実現。
- 1㎡に余裕で収まるコンパクトなサーフェス。スペースの限られた空間に最適。
- KLANG:technologiesの製品と接続し、サーフェスからコントロールが可能。

オペレーターの感性を十分に引き出す 細かな音響調整

- 4バンド・パラメトリックイコライザーやダイナミクスなどを自由に設定可能。ステレオエフェクターを12系統、32バンド・グラフィックイコライザーを16系統搭載。
- オプションでWaves社のプラグインテクノロジー"Waves SoundGrid"に対応できるキットを用意。専用のプロセッシングサーバーと接続し、Waves社の豊富なプラグインエフェクトを使用可能。



1 ライト端子
2 GPIO
3 MIDI インターフェース
4 AES/EBU Input
5 Mic/Line Input
6 電源
ホットスワップ可能
7 AES/EBU Output
8 Line Output
9 ワードクロック I/O
10 MADI インターフェース
11 D-Rack接続用CAT5ポート
12 VGAポート
13 Ethernetポート
14 USBポート

※オプションでオプチカル端子の搭載可能
HMA、OpticalCon、STより選択（写真はOpticalCon）

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

SD9T *for Theatre*

劇場や演劇に特化した機能を備えたSD9

■ UKロンドンの劇場やミュージカルのニーズを取り込んだ機能を豊富に装備。
- チャンネルセット
- マトリクスノードディレイ
- コントロールグループキューパネル
- スナップショット
- チャンネルキュー
- モジュールキュー
- プレイヤー機能　など

※オプションのアップグレードキットが必要です。

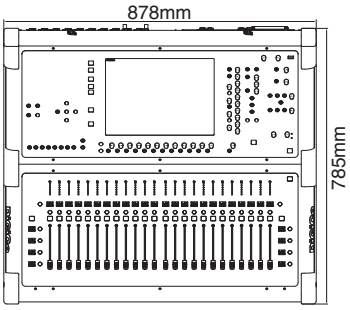
SD9B *for Broadcast*

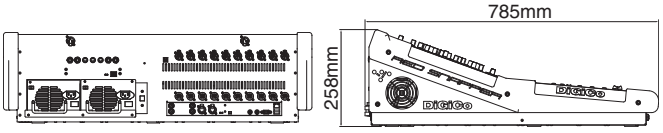
放送中継の機能をもちあわせたSD9

■ SD9の標準機能に5.1ch サラウンド、ミックスマイナス、スピーカーセレクトなどのブロードキャスト固有の機能を追加。

※オプションのアップグレードキットが必要です。

DIMENSION 寸法図

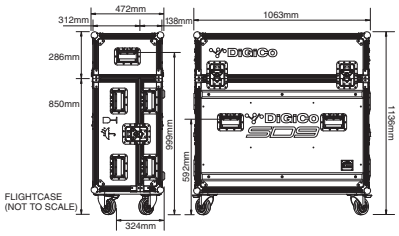




質量：36kg

OPTION オプション

■ **FC-SD9：**
SD9用フライトケース。



■ **SD9-OPT-HMA：**
SD9用オプチカルアップグレードキット。
HMA端子。

■ **SD9-OPT-NC：**
SD9用オプチカルアップグレードキット。
OpticalCon端子。

■ **SD9-OPT-ST：**
SD9用オプチカルアップグレードキット。
ST端子。

■ **SD9-TUPG：**
SD9用シアターモデルへのアップグレードキット。

■ **SD9-BUPG：**
SD9用ブロードキャストモデルへのアップグレードキット。

■ **FOURIER-SD9：**
SD9用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **WAVES-SD9：**
Waves SoundGridアップグレードキット。

■ **COVER-SD9：**
SD9用ダストカバー。

■ **SD-RR-PSU：**
リモートPSUラックキット。
※PSUは付属していません。

■ **PSU-SPX-1-MOD：**
シングルPSU。

RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29
D-Rack ▶ P.29

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「SD APP」を用意。▶ P.07

SD 11i

ポータビリティに優れ、
ラックマウントも可能な高品位小型ミキシングコンソール。

SD Series ***SD11i***

SD11i-WS／SD11i with D-Rack

SD11i *Core2*

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ 選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）	サンプリングレート
80	24 （AUX/GRPの総計）	2	最大12入力×8出力	8	96/48kHz、 24bit

ラックマウントできる
小型デジタル・ミキシングコンソール

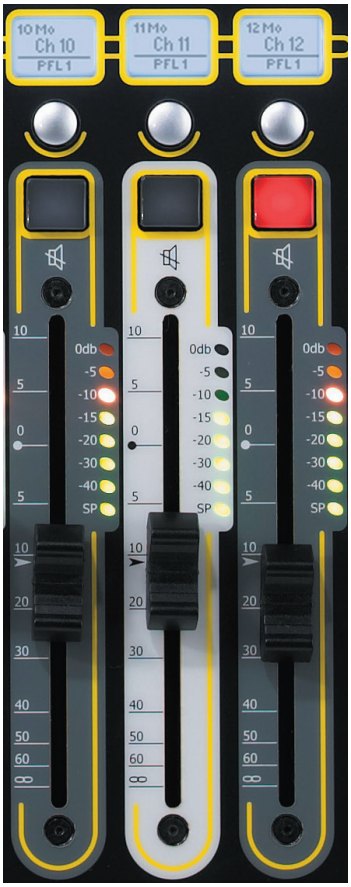
- サイドのアームレスト内にラックマウントアングルを装備しており、台置きで使用するほかラックマウントも可能。標準の19インチラックに収納。
- 一人で持ち運びできるポータビリティに優れたコンパクトなサイズ。
- 耐久性に優れたシャーシ。ワークサーフェスにも軽量で衝撃に強いポリカーボネートを採用。

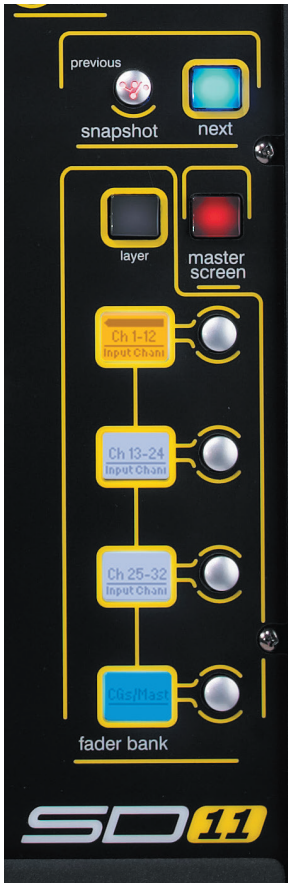
小さいながらも高品位なパフォーマンスを実現

- "ステルス・デジタルプロセッシング"を採用。（→p.04）上位機種とまったく同じスムーズな操作性を実現。
- 4バンド・パラメトリックイコライザーやダイナミクスなど基本的なプロセッシングのほか、出音の臨場感を高めるステレオエフェクターを8系統、32バンド・グラフィックイコライザーを12系統搭載。
- KLANG:technologiesの製品と接続し、サーフェスからコントロールが可能。
- オプションでWaves社のプラグインテクノロジー"Waves SoundGrid"に対応できるキットを用意。専用のプロセッシングサーバーと接続し、Waves社の豊富なプラグインエフェクトを使用可能。

豊富なローカルI/O

- 16Mic/Line入力、8ライン出力、AES/EBU入出力を備えており、スタンドアローンでも活躍可能。
- 入出力拡張用のラックも豊富にそろえています。
- オプションで長距離伝送が可能になる光ネットワークに対応可能。





1. ライト端子
2. Mic/Line Input
3. Line Output
4. オプションでWAVESにアップグレードした際に搭載
5. AES/EBU I/O
6. GPIO
7. MIDI インターフェース
8. 電源
9. ワードクロック I/O
10. MADI インターフェース
11. D-Rack接続用CAT5ポート
12. VGAポート
13. Ethernetポート
14. USBポート

※オプションでオプチカル端子の搭載可能
HMA、OpticalCon、STより選択

UPGRADE VERSION アップグレードバージョン

SD11 B *for Broadcast*

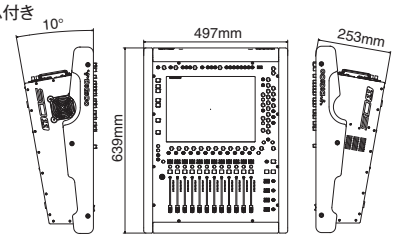
放送中継の機能をもちあわせたSD11

■ SD11iの標準機能に5.1ch サラウンド、ミックスマイナス、スピーカーセレクトなどのブロードキャスト固有の機能を追加。

※オプションのアップグレードキットが必要です。

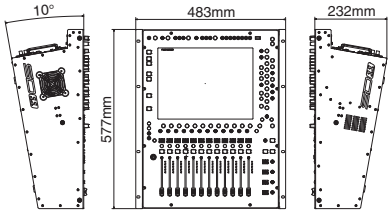
DIMENSION 寸法図

■ サイドアーム付き



質量：23.3kg

■ サイドアームなし



質量：22.2kg

OPTION オプション

■ **COVER-SD11：**
SD11i用ダストカバー。

■ **FC-SD11：**
SD11i用フライトケース。

■ **SD11-BUPG：**
SD11i用ブロードキャストモデルへのアップグレードキット。

■ **SD-RR-PSU：**
リモートPSUラックキット。
※PSUは付属していません。

■ **PSU-SPX-1-MOD：**
シングルPSU。

SD-RR-PSU フロントパネル　SD-RR-PSU リアパネル

SD-RR-PSUにPSU-SPX-1-MODを2台入れた状態。ホットスワップ可能。

■ **SD11-OPT-HMA：**
SD11i用オプチカルアップグレードキット。
HMA端子。

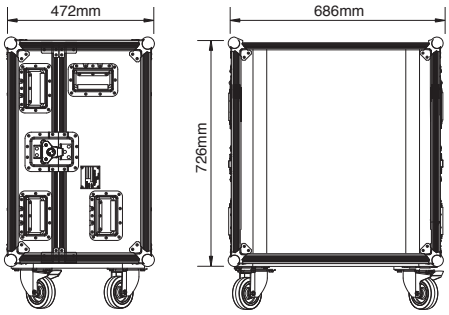
■ **SD11-OPT-NC：**
SD11i用オプチカルアップグレードキット。
OpticalCon端子。

■ **SD11-OPT-ST：**
SD11i用オプチカルアップグレードキット。
ST端子。

■ **FOURIER-SD11：**
SD11i用Dante I/Oアップグレードキット。

■ **WAVES-SD11：**
Waves SoundGridアップグレードキット。

■ **FC-SD11-2：**
SD11i用フライトケース、
車輪付。



RACK ラック

SD-Rack ▶ P.26
SD-MINI Rack ▶ P.27
SD-NANO Rack ▶ P.27
MQ-Rack ▶ P.28
D2-Rack ▶ P.29
D-Rack ▶ P.29

APPLICATION SOFTWARE
アプリケーションソフトウェア

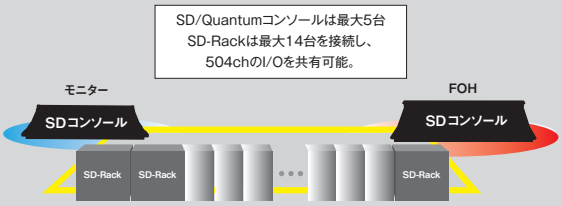
iPad用リモートコントロール・アプリケーションソフトウェア「SD APP」を用意。▶ P.07

SD-Rack Series

- “ステルス・デジタルプロセッシング”（→p.04）を採用した、高品位な入出力拡張用ラック。
- 最大192kHzの高解像度アナログI/Oコンバーターに加え、幅広いデジタルフォーマットをサポート。
- FOHとモニターなど複数のコンソールを使うSRの現場に便利なゲイントラッキング（→p.05）やスプリット機能（下記参照）を装備。
- 各機能を設定するバックライト付のディスプレイを配置。
- USBを使用してPCまたはインテル®ベースのMacからすべてのSD-Rackの設定を監視および制御ができます。

SD-Rackの入出力信号を共有

オプチカルで最大14台のSD-Rack（MINI、NANO含む）とSD/Quantumシリーズコンソールを最大5台接続して504chの大規模システムを構築可能。SD/Quantumコンソールはループ上にある入力信号だけでなく出力信号も共有可能。FOHとモニター用にそれぞれラックをそろえる必要がなくなるうえ、現場で引き回すケーブルも減少するため、セットアップの時間も削減できます。



スプリット機能

任意の入力信号を同じSD-Rackの任意の出力へダイレクトに送る機能で、アナログ・デジタルの両方に適用されます。送られた信号はゲイントラッキングのON/OFFが選択でき、ONにすると自動的にゲイントラッキングされます。入力のアナログゲインに変更があっても出力のデジタルトリムで相殺されます。「MADI SPLIT MAIN」「MADI SPLIT AUX」とラベリングされたMADIポートにも適用されます。

■ 各出力カードには、スプリット機能のON/OFFとゲイントラッキングのON/OFFを示すLEDがついています。

■ 同じSD-Rack内でのスプリットであれば、上部にあるパネルで設定できます。
※別のSD-Rackにスプリットする時は、コンソールからの操作が必要になります。

32bit入出力カード

32bit ADコンバーター搭載
マイクプリアンプカード
MOD-SDR-ADC32B

32bit DAコンバーター搭載
アウトプットカード
MOD-SDR-DAC32B

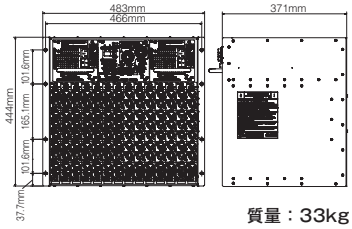
32bitというハイビットレートの入出力カード。
24bitが標準のデジタルオーディオに比べ、8ビットのレート差をもつサウンドは音のひとつひとつがより鮮明になり、音の再現性は極めて高くなります。

SD-Rack 10U

SD-Rack	SD-Rack-HMA	SD-Rack-NC	SD-Rack-ST
オプチカル未装着。MADI。	オプチカル対応。HMA端子。	オプチカル対応。OpticalCon端子。	オプチカル対応。ST端子。

- ホットスワップが可能な電源を2つ標準で装備。
- 入出力各7スロット分のカードを挿入し、最大56in+56outを自由に構築。
- コンソールへは、2G オプチカルかMain/Auxの2つのMADIで接続。
  2×5m BNC同軸ケーブル、2×100m BNC同軸ケーブル付属。
- W483×H444×D371mm、33kg
- 消費電力:300W（ピーク時）

DIMENSION 寸法図



質量：33kg

Cards SD-Rack、SD-MINI Rack、SD-NANO Rack用選択可能カード

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

Ⓐ **MOD-SDR-ADC32B:**
192kHz、マイク/ライン入力×8
各チャンネル32ビットAD変換
各チャンネルに+48Vファンタム電源供給可能。

Ⓑ **MOD-SDR-ADC:**
192kHz、マイク/ライン入力×8
各チャンネルに+48Vファンタム電源供給可能。

Ⓒ **MOD-SDR-DAC32B:**
192kHz、アナログライン出力×8
各チャンネル32ビットのDA変換

Ⓓ **MOD-SDR-DAC:**
192kHz、アナログライン出力×8

Ⓔ **MOD-SDR-AES-IO-B:**
AES/EBU入出力（BNC）×8

OPTION オプション

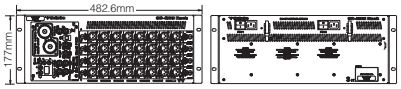
- **MOD-SDR-PSU:** SD-Rack用予備電源。ホットスワップ可能。
  ※SD-MINI/SD-NANO Rackには適応せず。
- **LEADS0043:**5m BNC同軸ケーブル。
- **LEADS0049:**100m BNC同軸ケーブル。
- **OPTIC-LINK-5M:**5m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-DRUM-150:**150m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-CHA-LC:**0.75m HMAパネルマウント↔LC端子ケーブル。
- **MOD-SDR-OP-UP:**SD-Rack用 オプチカルアップグレードキット。HMA端子。
- **MOD-SDR-NC-UP:**SD-Rack用 オプチカルアップグレードキット。OpticalCon端子。
- **MOD-SDR-ST-UP:**SD-Rack用 オプチカルアップグレードキット。ST端子。

SD-MINI Rack (4U)

SD-MINI Rack オプチカル未装着。MADI。
SD-MINI Rack-HMA オプチカル対応。HMA端子。
SD-MINI Rack-NC オプチカル対応。OpticalCon端子。
SD-MINI Rack-ST オプチカル対応。ST端子。

- 予備電源を標準で装備しており、突発的な電源の不具合にも対応可能。
- 最大32chを自由に構築可能な4スロット搭載。
- コンソールへは、2G オプチカルかMain/Auxの2つのMADIで接続。
- 2×5m BNC同軸ケーブル付属。
- W483×H177×D409mm、14.8kg
- 消費電力:300W（ピーク時）

DIMENSION 寸法図



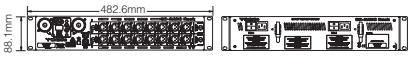
質量：14.8kg

SD-NANO Rack (2U)

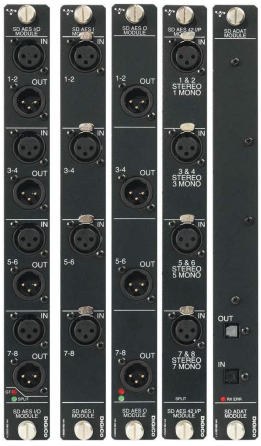
SD-NANO Rack-HMA オプチカル対応。HMA端子。
SD-NANO Rack-NC オプチカル対応。OpticalCon端子。
SD-NANO Rack-ST オプチカル対応。ST端子。

- 予備電源を標準で装備しており、突発的な電源の不具合にも対応可能。
- 最大16chを自由に構築可能な2スロット搭載。
- コンソールへは、2G オプチカルで接続。
- W483×H88×D443mm、10.7kg
- 消費電力:300W（ピーク時）

DIMENSION 寸法図



質量：10.7kg



Ⓕ **MOD-SDR-AES-IO:**
AES/EBU入出力×8

Ⓖ **MOD-SDR-AES-I:**
AES/EBU入力×8

Ⓗ **MOD-SDR-AES-O:**
AES/EBU出力×8

Ⓘ **MOD-SDR-AES42:**
AES-42入力（デジタルマイクロホン用）×8

Ⓙ **MOD-SDR-ADAT:**
ADAT入出力×8、オプチカル

Ⓚ **MOD-SDR-AVIOM:**
AVIOM D-16c
AES-42出力×16、
CAT5eコネクター

Ⓛ **MOD-SDR-SDIHDI:**
デジタルSDI／HDI入出力×8

Ⓜ **MOD-SDR-DANTE:**
Dante入出力×8

● **MOD-SDR-BLANK:**
ブランクパネル

OPTION オプション

- **LEADS0043:**5m BNC同軸ケーブル。
- **LEADS0049:**100m BNC同軸ケーブル。
- **OPTIC-LINK-5M:**5m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-DRUM-150:**150m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-CHA-LC:**0.75m HMAパネルマウント↔LC端子ケーブル。

OPTION オプション

- **LEADS0043:**5m BNC同軸ケーブル。
- **LEADS0049:**100m BNC同軸ケーブル。
- **OPTIC-LINK-5M:**5m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-DRUM-150:**150m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-CHA-LC:**0.75m HMAパネルマウント↔LC端子ケーブル。

RACK

MQ-Rack 6U

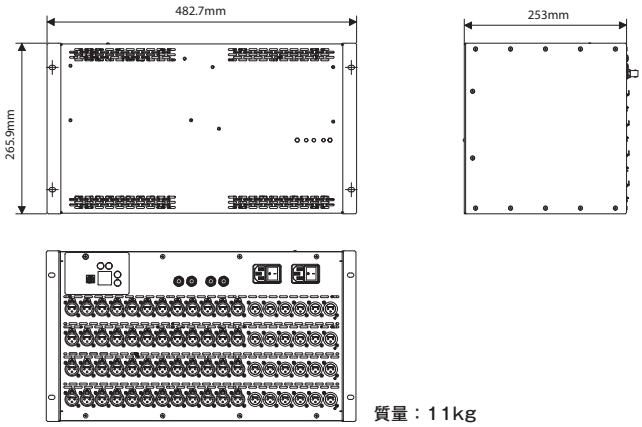
- ツアー用インフラとして定番のMADI伝送のI/O拡張ラック。Quantum225に仕様化されていますが、QuantumやSDの全コンソールで使用可能。
- 48マイクイン/24ラインアウト。ライン出力のうち4系統をAES/EBUへ切り替えて、20ラインアウト+4ステレオへ再設定可能。
  ※出力のアナログ/AES切り替え機能はQuantumコンソールのみ対応。
- サンプリングレート96kHz標準。48kHzへの切り替えも可能。
- 予備電源を標準装備。電源の突発的な不具合に対応。
- ゲイントラッキング可能。
- USB 2.0 Type Bポート装備。
- オシレーター内蔵。すべての出力に送信可能。
- 設定のロックが可能。不測の接触による変更を防止。
- 100mBNCケーブルを2本付属。
- W482.7×H265.9×D253mm、11kg
- 消費電力:55W(駆動および起動時)

DQ-Rack 6U

Dante™

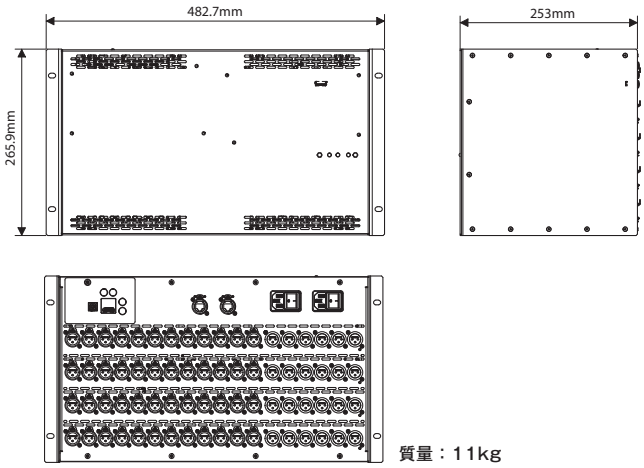
- Dante対応のI/O拡張ラック。Quantum225に仕様化されていますが、ほかのQuantumコンソールやDMIカードを挿入できるSDコンソールで使用可能。
  ※SDコンソールで使用する場合、ファームウェアバージョンが103以上の「MOD-DMI-DANTE2」カード(→p.34)の装着が必須。
- 48マイクイン/24ラインアウト。ライン出力のうち4系統をAES/EBUへ切り替えて、20ラインアウト+4ステレオへ再設定可能。
  ※出力のアナログ/AES切り替え機能はQuantumコンソールのみ対応。
- Danteに対応した既存のインフラを使用可能。リモート会議用のビデオモニター、卓上マイクロホンなどAV機器を使用した会議システムやAoIPネットワーク環境に対応できる設備用システムとして活用。
- サンプリングレート96kHz標準。48kHzへの切り替えも可能。
- 予備電源を標準装備。電源の突発的な不具合に対応。
- ゲイントラッキング可能。
- USB 2.0 Type Bポート装備。
- オシレーター内蔵。すべての出力に送信可能。
- 設定のロックが可能。不測の接触による変更を防止。
- 75mのCAT6ケーブルを1本付属。
- W482.7×H265.9×D253mm、11kg
- 消費電力:60W(駆動および起動時)

DIMENSION 寸法図



質量：11kg

DIMENSION 寸法図



質量：11kg

OPTION オプション

- **LEADS0043:**5m BNC同軸ケーブル。
- **LEADS0049:**100m BNC同軸ケーブル。

OPTION オプション

- **LEADS0057:**2m CAT6ケーブル。
- **LEADS0054:**10m CAT6ケーブル。
- **LEADS0053:**75m CAT6ケーブル。
- **LEADS0058:**100m CAT6ケーブル。

D2-Rack 9U

- 48マイク/
  ライン入力モデル
  D2R-ANA-B
  D2R-ANA-C

- 24AES+24マイク/
  ライン入力モデル
  D2R-DIG-B
  D2R-DIG-C

- SD9とSD11iに仕様化された入出力拡張用のラックですが、SDシリーズすべてのモデルで使用できます。
- 入力端子が異なる2モデルを用意しています。出力のオプションカードを追加することで32chまで増設可能。
  ·48マイク/ライン入力(固定)、16ライン出力(固定)と2スロット。
  ·24マイク/ライン入力(固定)、24AES入力(12ステレオ:固定)、16ライン出力(固定)と2スロット。
- コンソールへの接続は、BNC端子(-B)とRJ45(-C)の2モデルを用意しています。※ご注文時にどちらかを選択してください。
- サンプリングレート96kHzに対応。48kHzへの切り替えも可能。
- 予備電源を標準で装備しており、突発的な電源の不具合にも対応可能。
- BNC端子モデルは、100mのBNC同軸ケーブルを2本付属。CAT6モデルは、75mのCAT6ケーブルを1本付属。
- W482.6×H399.2×D248mm、14kg
- 消費電力:100W(駆動および起動時)

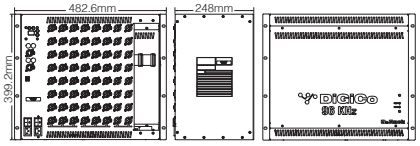
Cards

① **MOD-D2R-DAC:**
ライン出力×8

② **MOD-D2R-AES-O:**
AES/EBU出力×8

③ **MOD-D2R-AVIOM:**
AVIOM D-16c、超高速A-Net™
PRO16プロトコル接続
※2つの出力スロットを占有します。

DIMENSION 寸法図



質量：14kg

OPTION オプション

- **LEADS0043:**5m BNC同軸ケーブル。
- **LEADS0049:**100m BNC同軸ケーブル。
- **LEADS0057:**2m CAT6ケーブル。
- **LEADS0054:**10m CAT6ケーブル。
- **LEADS0053:**75m CAT6ケーブル。
- **LEADS0058:**100m CAT6ケーブル。

D-Rack 7U

- SD9とSD11iに仕様化された入出力拡張用のラックですが、SDシリーズすべてのモデルで使用できます。(一部オプションが必要)
- 32マイク入力(固定)、8ライン出力(固定)。1スロット分のオプション追加で出力を8ch増設可能。
- 予備電源を標準で装備しており、突発的な電源の不具合にも対応可能。
- 75mのCAT6ケーブルを1本付属。
- オプションのオプチカルアップグレードキットで、光伝送が可能になります。大規模なシステムにもフレキシビリティに対応できます。
- ラックマウントキットもオプションで用意しています。
- W412×H310×D180mm、7.4kg
- 消費電力:350W(起動時)

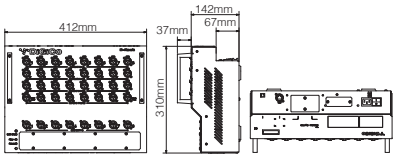
Cards

① **MOD-D-RACK-DAC:**
ライン出力×8

② **MOD-D-RACK-AES:**
AES/EBU出力×8

③ **MOD-D-RACK-AVIOM:**
AVIOM D-16c、超高速A-Net™
PRO16プロトコル接続
※2つの出力スロットを占有します。

DIMENSION 寸法図



質量：7.4kg

OPTION オプション

④ **D-RACK-EARS:**ラックマウントキット。
- **D-RACK-OPT-HMA:**オプチカルアップグレードキット。HMA端子。
- **D-RACK-OPT-NC:**オプチカルアップグレードキット。OpticalCon端子。
- **D-RACK-OPT-ST:**オプチカルアップグレードキット。ST端子。
- **LEADS0057:**2m CAT6ケーブル。
- **LEADS0054:**10m CAT6ケーブル。
- **LEADS0053:**75m CAT6ケーブル。
- **LEADS0058:**100m CAT6ケーブル。
- **OPTIC-LINK-5M:**5m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-DRUM-150:**150m HMA光ケーブル。
- **OPTIC-CHA-LC:**0.75m HMAパネルマウント↔LC端子ケーブル。
- **MOD-D-RACK-ISO:**D-Rack用RJ45アイソレーショントランスキット。

S21

**ワールドツアーのスタンダードである
SD Seriesの流れを汲む小型軽量モデル。
流行によらず、そのクラスのフラッグシップを届けることを目指して誕生。**

S31

S21／S31

入力チャンネル	バス	ソロバス	マトリクス	コントロールグループ	サンプリングレート
48 （全チャンネルモノ/ステレオ切替可）	16 モノ/ステレオ＋LRマスター	ステレオ×2	最大10入力×8出力	10	96/48kHz、24bit

コストパフォーマンスの高い、高品位モデル

- 新規開発された低コストのFPGAを同じオーディオアルゴリズムでプログラミングし、新しくARMのQuadCore RISCプロセッサーを搭載。コストパフォーマンスを高く保つだけでなく、より速い処理能力と消費電力の抑制を実現しています。
- 第4世代のSHARC DSPを搭載。FPGAをコントロールする以上の余力を持っており、近い将来に追加される機能にも対応できます。
- 2画面21フェーダーのS21と、3画面31フェーダーのS31を用意。

優れた視認性と快適な操作性を実現するタッチスクリーンを搭載

- P-CAPマルチタッチスクリーンをS21は2画面、S31は3画面採用。複数のタッチスクリーンにすることで、ユーザーが感じる制限を払拭。快適な操作性を提供します。
- 各スクリーンに10のチャンネルストリップを提供しているため、各チャンネルの即時フィードバックとコントロールが可能。チャンネル移動やサーフェスを横断するバスからカスタムフェーダーレイアウトまでシンプルに構成します。

カラーリングによる識別を強化

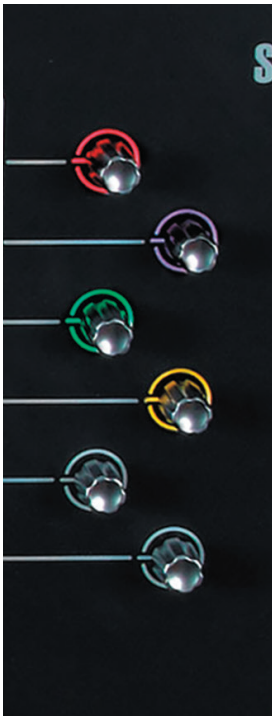
- SD Seriesの上位機種だけに備わっていた、HTLを採用。エンコーダーの周囲をフルカラーLEDで彩り、チャンネルを簡単に識別できます。屋外の太陽光の下でも優れた視認性を誇り、暗い場所では美しく輝きます。

96kHz標準の高音質

- サンプリングレート96kHzの高い解像度による明瞭度の高い音質を実現。96kHzが標準なので、プロセッシング機能が半減することもありません。

UB MADIを内蔵

- USB2.0を使用してPCに接続するインターフェースを装備。PCレコーディングが簡単に行えます。
- Intel® Core™ Duoあるいはそれ以上のCPUを備えたすべてのWindowsあるいはMacと互換性を持っています。



※画像はS31

1. UB MADI
2. DVI Out
3. Ethernetポート
4. USBポート
5. GPIO
6. ワードクロック I/O
7. AES/EBU I/O
8. DMIスロット
9. Line Output
10. Mic/Line Input

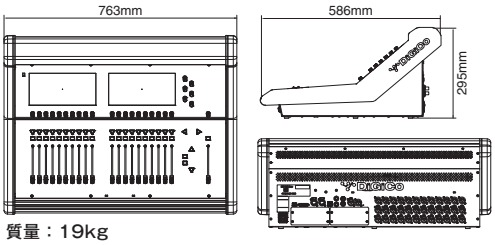
DMI CARDS DMIカード

■ オプションで入出力拡張用のDMI(DiGiCo Multichannel Interface)カードを用意しています。背面の専用スロットに任意のカードを入れて使用します。多様なカードを用意しており、用途に合わせて選択可能。

※DMIカードの詳細はp.34参照

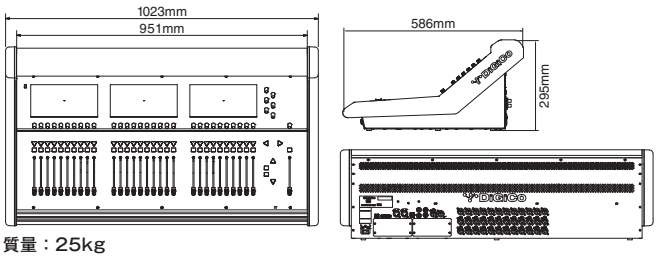
DIMENSION 寸法図

■ **S21**



質量：19kg

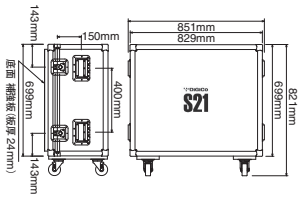
■ **S31**



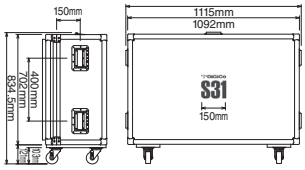
質量：25kg

OPTION オプション

■ **S21 Case**
S21用フライトケース。アルモア製。



■ **S31 Case**
S31用フライトケース。アルモア製。



Software ソフトウェア

■ **S APP**
S21、S31をワイヤレスで制御するためのiPad用アプリケーション。(→p.07)

MIX

Snapshot

Apple Storeより
フリーダウンロード

Available on the App Store

RACK ラック

■ CAT5で接続可能なラック

D2-Rack ▶P.29	D-Rack ▶P.29

※オプションのMOD-DMI-MADI-Cが必要です。

■ MADIで接続可能なラック

D2-Rack ▶P.29

※オプションのMOD-DMI-MADI-Bが必要です。

■ Danteで接続可能なラック

DQ-Rack ▶P.28	A164D WALL LCD ▶P.33
A168D STAGE ▶P.33	

※MOD-DMI-DANTE2カードが必須です。

4REA4

複数のスペースに高品位なサウンドを効率的に提供する オーディオ・インストレーション・プラットフォーム。

フロントパネル

リアパネル

4REA4 6U

4REA4

※詳細は、『4REA4 DIGITAL MATRIX SYSTEM』カタログをご覧ください。

入力チャンネル	バス	ソロバス	サンプリングレート
128（ステレオは2DSPチャンネル）	48ミックスバス（AUX/GRP/マトリクス/FXセンドを含む）	4	96kHz、24bit

1台で4つのエリアの音響マネジメントが可能

- ミックスとルーティングをマネジメントする、デジタル・プロセッシング・エンジン。128入力と48出力バスを4つのエリアに任意に配分。
- 4つのエリアはそれぞれ独立したミキシングエリアになっており、それぞれにステレオマスター、コントロールグループ、エフェクターを搭載。
- 外付けのI/O、コントローラーをオプションで用意。用途や規模に応じた効率的なサウンドシステムを構築可能。

直感的な操作で簡単管理

- MAC/PC上で動作する専用のコントロールソフトウェアを用意。簡単操作で直感的に設定でき、4つのエリア全体の遠隔操作・監視が可能。オフラインで、事前にシステムデザインも可。
- フロントパネルには、TFTディスプレイを備えた8つのマクロキーを装備。現場の状況にいち早く対応できるようにするため、よく使用する機能の即時呼び出しや4つのエリアのいずれかに対して特定の機能の実行を設定可能。

高解像度の音質と圧倒的な処理能力

- ライブサウンドでワールドツアーの世界標準となっているDiGiCoのQuantum/SD Seriesコンソールと同等の96kHzという高解像度による音質と圧倒的な処理能力を備えており、設備音響に高品質なサウンドを提供。

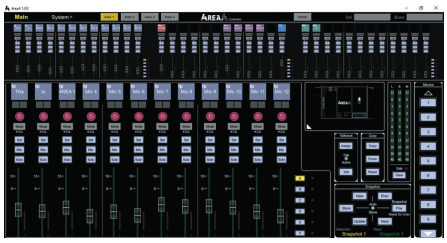
DiGiCoコンソールとデバイスを共有可能

- リアパネルにDMIカードとSD-Rack Seriesのカードスロットを用意。BNCやCAT5接続でのMADI伝送、Dante、オプチカル、WAVES、AVIOMなどの様々なインターフェースが使用可能。
- 接続しているすべてのMADI搭載機器の制御と共有が可能。
- DMI Optocoreカードを使用すれば、最大14台のラックと最大5台のコンソールが接続されたオプチカルリダンダントループ内に4REA4を組み込め、システム内では最大504chのI/Oを共有し、96kHzでのリダンダントも可能。

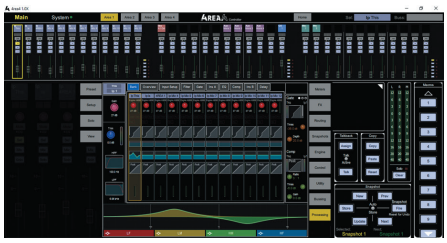
SPECIFICATION 仕様

- 128入力（ステレオチャンネルは2つのDSPチャンネルを使用）
- 48ミックスバス
- 各エリアの専用ステレオマスター
- 128×48プロセッシングチャンネル
  - ・HPF:12、18または24dB/Oct Butterworthフィルター、または18dB/Oct Besselフィルター
  - ・LPF:12dB/Oct Butterworthフィルター
  - ・4バンドパラメトリックEQ
  - ・ダイナミクス:ゲート、ダッカー、スローダッカー、マニュアルピークコンプレッサー
  - ・チャンネルごとに2つの挿入ポイント
  - ・341.32msの入力ディレイ、685.63msの出力ディレイ
  - ・出力のグラフィックEQ
- 16 FXプロセッシング
  リバーブ、ステレオタップディレイ、コーラス、ゲート、ピッチシフター、ディエッサー、4バンドダイナミックEQ、3マルチバンドコンプレッサー
- W483×H265×D380mm（突起部含まず）、20.2kg
- 消費電力:90W

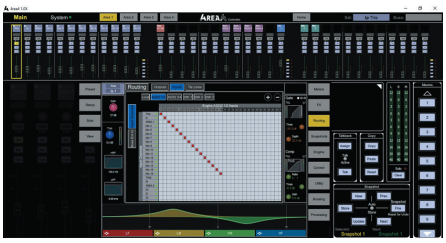
■ 専用コントロールソフトウェア画面



オーバービュー



チャンネルビュー



ルーティング

Ethernetコネクター

ASTARポート A128128 4REA4オーディオネットワーク（1000Mb/s）
レイヤー2のみ、ギガビットEthernetネットワーク、レイヤー2のネットワークスイッチやメディアコンバーター（光ファイバー）との互換性あり、2または1×リダンダント

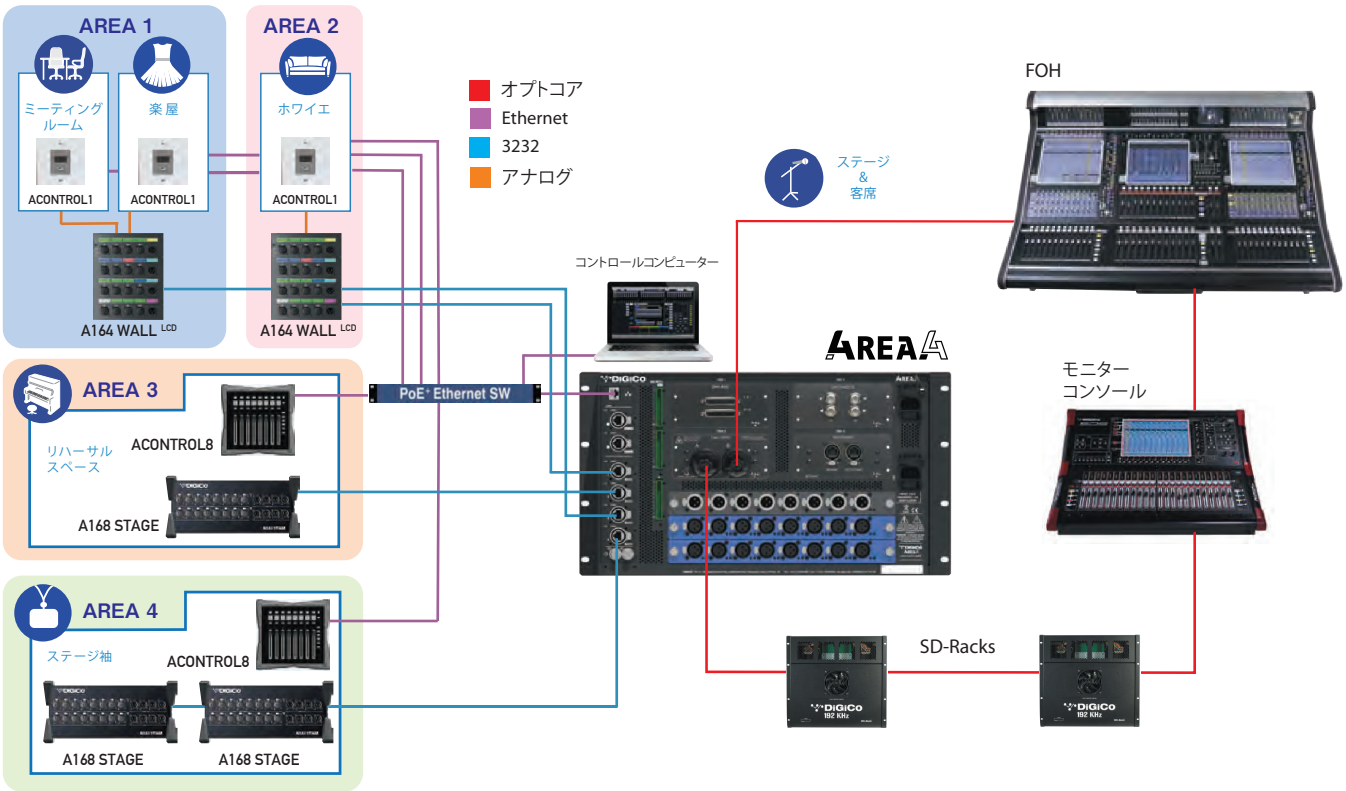
A3232ポート 4REA4オーディオネットワーク（100Mb/s）
レイヤー2のみ、高速Ethernetネットワーク、レイヤー2のネットワークスイッチやメディアコンバーター（光ファイバー）との互換性あり、4または2×リダンダント

ワードクロック in/out　A88 GPIO

DMI カードスロット 最大64in/64out@96kHz
DiGiCoのDMIカードを挿入するスロットカード。多種多様なカードから任意に選択。
・Analog　・AVIOM　・AES
・Waves　・MADI　・Dante
（→カードの詳細は、p.34）

SD-Rack カードスロット
SD-Rackで使用できるカードを挿入するスロット。
（→カードの詳細は、p.26～27）

■ ホール施設での使用例



各エリアそれぞれに、コールバックやエフェクターを搭載

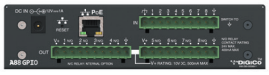
● I/O 拡張ユニット

A164 WALL LCD

■ A164D WALL LCD
■ A164 WALL LCD
●ローカルエリア用固定型I/O拡張ユニット。壁や床などに埋め込んで使用。
●16マイク/ラインと4ラインアウト。
●A164D WALL LCDは、Dante対応モデル。

■ A168D STAGE
■ A168 STAGE
●ローカルエリア用ポータブル型I/O拡張ユニット。ポータブルとして必要な場所に設置可能。
●16マイク/ラインと8ラインアウト。
●A168D STAGEは、Dante対応モデル。

フロント



リア

■ A88 GPIO
●リモートサードパーティ製ハードウェアの制御統合のための汎用I/Oインターフェース。
●最大8系統のGPIOユニット。

■ ASTAR
●ネットワーキングハブ。1本のケーブルでローカルエリアに接続し、4×32入力32出力を提供。
●2系統のリダンダントとしても使用可能。

● リモートコントローラー

■ A CONTROL1
●ロータリー/スイッチコントローラー。
●US（Decora）サイズ。

■ A CONTROL6
●6×ロータリー/12×スイッチコントローラー、6バンクセレクター、12×パネルキー搭載。

■ A CONTROL8
●8×100mmムービングフェーダー、6×セレクター、12×パネルキー搭載。

DMIカード

DMIカードは、QuantumコンソールやSD12-96/S21/S31/4REA4の入出力拡張カードおよびOrange Boxのフォーマット変換カードとして使用します。
※ミキシングコンソールの機種やファームウェアのバージョンにより、使用できない場合があります。
ご購入前にご確認ください。

■ 入出力

①MOD-DMI-ADC
- アナログライン入力：D-Sub端子

②MOD-DMI-DAC
- アナログライン出力：D-Sub端子

③MOD-DMI-AES
- AES I/O：D-Sub端子

④MOD-DMI-MICPRE
- 8chマイクプリアンプ：D-Sub端子

■ MADI接続

⑤MOD-DMI-MADI-B
- MADI：BNC端子

⑥MOD-DMI-MADI-C
- D2-Rack、D-Rack用：RJ45

■ A3232接続

⑦MOD-DMI-A3232
- A168 STAGE用。
  各ポートは最大32のI/Oをサポートし、
  合計64のI/Oチャンネル数が可能。

■ オートマイクミキシング

⑧MOD-DMI-AMM
- 最大64chオートマチック・マイク・ミキシング・カード

■ オプチカル接続

⑨MOD-DMI-OPTO
- オプチカル：HMA端子

⑩MOD-DMI-OPTO-S
- オプチカル：HMA端子、シングルモード仕様

⑪MOD-DMI-OP-NC
- オプチカル：OpticalCon端子

⑫MOD-DMI-OP-NCS
- オプチカル：OpticalCon端子、
  シングルモード仕様

⑬MOD-DMI-OP-ST
- オプチカル：ST端子

⑭MOD-DMI-OP-STS
- オプチカル：ST端子、シングルモード仕様

■ Dante接続

⑮MOD-DMI-DANTE
- Dante用
- 64in 64out@48kHz
  32in 32out@96kHz

⑯MOD-DMI-DANTE2
- Dante用
- 64in 64out@48kHz/96kHz

■ 外部機器接続専用

⑰MOD-DMI-KLANG（→p.39）
- KLANGインターフェースカード

⑱MOD-DMI-AVIOM
- AVIOM用

⑲MOD-DMI-WAVES
- WAVES SoundGrid用

⑳MOD-DMI-HYDRA 2
- CALREC ネットワーク用

㉑MOD-DMI-ME（→p.41）
- ALLEN & HEATHインターフェースカード
  （ME-1とME-500に対応）

㉒MOD-DMI-AVB
- AVB Milanインターフェースカード

Orange Box 2U

多様なカードを用意しており、
カードの差し替えで任意のフォーマットに変換可能。

- 2つのスロットに任意のDMIカードを差し込み、様々なフォーマットに変換可能。
- DMI（DiGiCo Multichannel Interface）カードは、18種類。Quantumコンソールや SD12-96、S21、S31、4REA4の入出力拡張カードとしても使用できます。
- 予備電源を標準で装備。
- バンドルパッケージ
  - **Orange Box Bundle 1**
    Orange Box×2、MOD-DMI-MADI-B×2、MOD-DMI-DANTE×2
  - **Orange Box Bundle 2**
    Orange Box×2、MOD-DMI-MADI-C×2、MOD-DMI-DANTE×2

Orange Boxの使用例

ライブ録音やプレイバック音源用などの機器をオプチカルリダンダントループを使用したDiGiCoコンソールのシステム内に入出力させたい場合には、Orange BoxにMOD-DMI-OPTOなどのオプチカルDMIカードを装着し、DiGiCoコンソールのオプチカルリダンダントループ内に接続します。

もう1つのスロットにMADIやDanteなど接続したい機器の規格に合わせたカードを挿入すれば、システム内のSD-Rackなどの入出力数に影響せず、シンプルな構成でシステムに融合できます。

■ DMIカード一覧表

	Quantum8/7/5 338·326/225	SD12-96	S21/S31	4REA4	ORANGE BOX
① MOD-DMI-ADC	○	○	○	○	○
② MOD-DMI-DAC	○	○	○	○	○
③ MOD-DMI-AES	○	○	○	○	○
④ MOD-DMI-MICPRE	○	○	○	○	×
⑤ MOD-DMI-MADI-B	○	○	○	○	○
⑥ MOD-DMI-MADI-C	○	○	○	○	○
⑦ MOD-DMI-A3232	×	×	○	×	×
⑧ MOD-DMI-AMM	○	○	○	×	×
⑨ MOD-DMI-OPTO	×	×	×	○	○
⑩ MOD-DMI-OPTO-S	×	×	×	○	○
⑪ MOD-DMI-OP-NC	×	×	×	○	○
⑫ MOD-DMI-OP-NC-S	×	×	×	○	○
⑬ MOD-DMI-OP-ST	×	×	×	○	○
⑭ MOD-DMI-OP-ST-S	×	×	×	○	○
⑮ MOD-DMI-DANTE	○	○	○	○	○
⑯ MOD-DMI-DANTE2	○	○	○	○	○
⑰ MOD-DMI-KLANG	○	○	○	×	○
⑱ MOD-DMI-AVIOM	○	○	○	○	○
⑲ MOD-DMI-WAVES	○	○	○	○	○
⑳ MOD-DMI-HYDRA2	○	○	○	×	○
㉑ MOD-DMI-ME	○	○	○	×	○
㉒ MOD-DMI-AVB	○	○	×	×	○

※詳細は、お問い合わせください。

SOLUTIONS

Little Red Box ハーフラック

■ コネクターの違うコンソールとラックの接続を可能にし、2台のコンソール間でラックに入力された信号の共有ができるインターフェースです。

対象ラック：すべてのラック　**対象コンソール：**SD9、SD11i

OPTION オプション

■ **MOD-LB-2U：**
ラックマウントパネル。Little Red Box/Little Blue Boxを2台マウント可能。

Little Blue Box ハーフラック

■ D-Rackに入力された信号をコネクターの違うコンソール間で共有できるインターフェースです。

対象ラック：D-Rack　**対象コンソール：**SDシリーズ全モデル

OPTION オプション

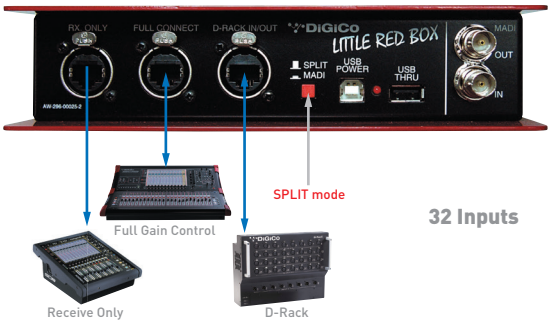
■ **MOD-LB-2U：**
ラックマウントパネル。Little Red Box/Little Blue Boxを2台マウント可能。

APPLICATION アプリケーション例

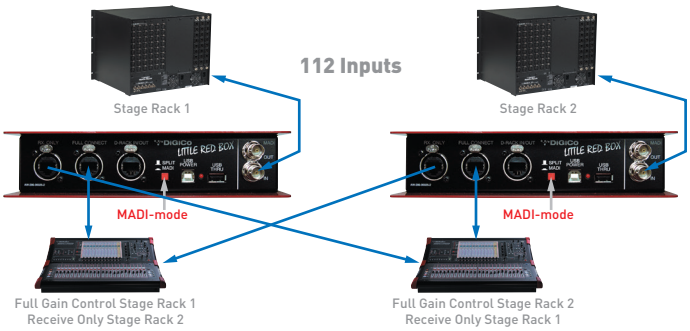
■ 一方のコンソールを「Full Connect」にすると、Full Connectにしたコンソールでゲインや出力のコントロールができます。
もう一方のコンソールは入力に関して「Receive Only」になります。ゲイントラッキング機能も使用できます。

※以下は全て、48kHz運用時の例です。

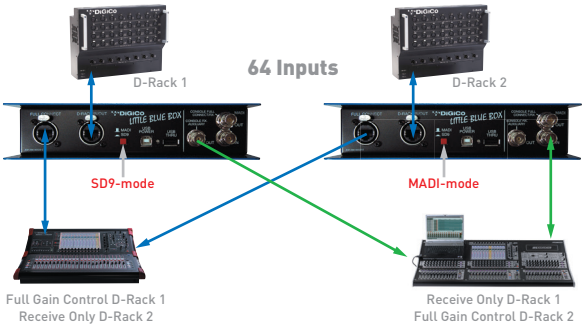
1 SD11iとSD9が1台のD-Rackの入力信号を共有



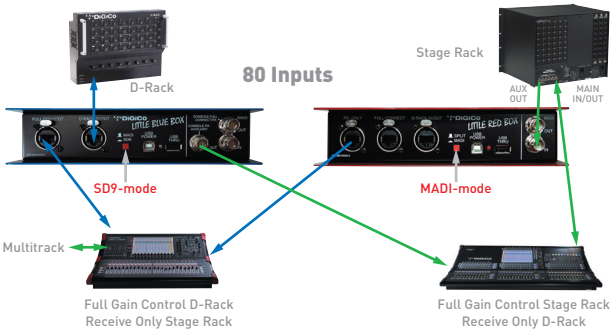
2 2台のLittle Red Boxを使って、2台のSD9が2台のステージラックの入力信号を共有



3 2台のLittle Blue Boxを使って、SD9とSD 8で2台のD-Rackの入力信号を共有



4 Little Blue BoxとLittle Red Boxを1台ずつ使い、SD9とSD10でD-Rackとステージラックの入力信号を共有



Purple Box 1U

PB-HMA HMA端子
PB-NC OpticalCon端子
PB-ST ST端子

HMA端子

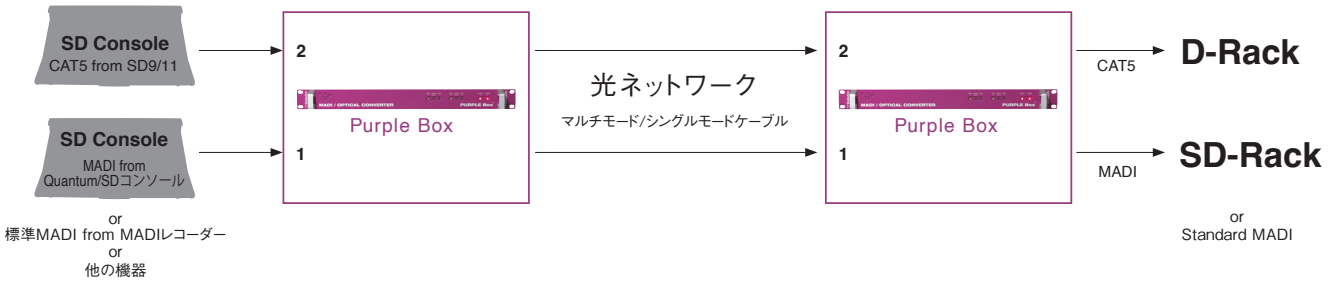
OpticalCon端子

ST端子

CAT5/MADIをOpticalにコンバート。

- Purple Boxは、CAT5/MADIをオプチカルにコンバートし、コンソールとラック間の距離を延長します。1台に2系統を搭載。光ケーブルのシングルモードとマルチモードを用意しており、HMA、OpticalCon、STに対応。マルチモードケーブルの場合は最大で600m、シングルモードの場合は数キロの延長が可能(2kmまで実証済み)。
- 予備電源を標準で装備。

APPLICATION アプリケーション例



UB MADI

MADIをUSBに変換するオーディオインターフェース。

- USB2.0を使用してMADIの入出力をPCに取り込む、シンプルな接続を実現。MADIケーブルと付属のUSBケーブルの簡単な装備だけでPCレコーディングやプレイバックを容易に行えます。
- "ステルス・デジタルプロセッシング"(→p.04)を使用した圧倒的な処理能力によるローレイテンシーを実現。
- 入出力それぞれ48ch、計96chの同時取り込みが可能。
- UB MADIのデジタル伝送はUSBのデータークロックに依存せず、ジッターの発生を抑えた高い安定性を誇ります。
- Intel® Core™ Duoあるいはそれ以上のCPUを備えたすべてのWindowsあるいはMacと互換性を持っており、AES10に準拠したMADI以外にも同軸のAES3(AES/EBU)のステレオにも対応。
- 一度ドライバーをPCにインストールすればシンプルなプラグアンドプレイのデバイスとなり、自動的にMADIフォーマットとクロックを検知。
- PC電源を入れたまま抜き差し可能なホットプラグ。
- バスパワー駆動。
- W56×H105×D25mm、124g

推奨OS(下限条件)
●Microsoft Windows 7(32bitまたは64bit) ●Apple OS X Mountain Lion(10.8またはそれ以降)

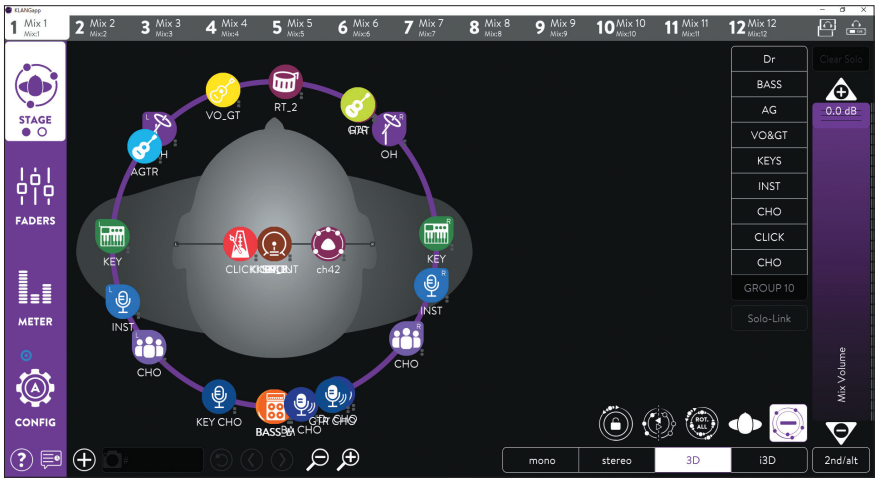
推奨ハードウェア
●2GB RAM、Intel Core 2 Duo 2GHz CPU 同等またはそれ以上。UB MADIは自動的に入力フォーマットを検知し選択します。 ●24bit 48kHz AES-10 MADI(32、56、57、64 チャンネルフレームサイズ)
●24bit 48kHz AES-3 Audio ●48kHz Word Clock(プレイバックオンリー時にUB MADI を同期させます)。ASIOやCoreAudioに準拠するドライバー/アプリケーションが別途必要です。

Immersive In-Ear Mixing/Personal Monitoring

IEMで使用するために特別に設計されたプロ用モニタリングシステムで、個々のミュージシャンに自然で立体的なサウンドを提供。

KLANG:technologiesの3Dパーソナルモニター・ミキシングシステムは、音像定位を設定できる画期的なシステムです。前後左右だけでなく、高さの上下関係も簡単な操作で直感的に操作可能。ステレオという妥協があったインイヤーモニターとは一線を画する高品位なモニタリングシステムです。透明感のある音質はもちろん、奥行きのある自然なサウンドを提供できるため、ミュージシャンは自身のパフォーマンスに集中できます。

KLANG TECHNOLOGIES

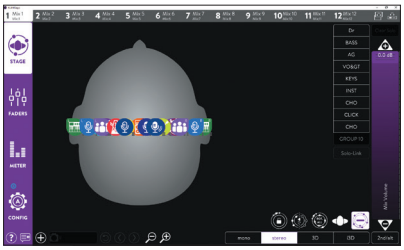


3Dモード

画面の頭の周囲に現れたリング上に楽器を配置します。KLANG独自の3Dオーディオエンジンで処理され、左右だけではなく前後にも配置可能。

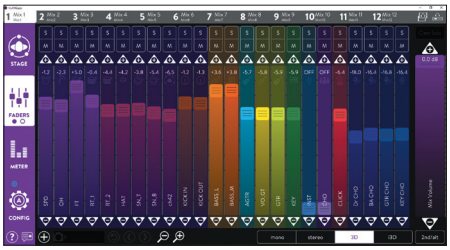
app　ダウンロードフリー

- iOS、Android、Windows、Macで設定操作が可能なリモートコントロール・アプリケーションソフトウェア。OSCまたはMIDI MCUを介してfabrikとvierを制御。
- フェーダー操作やルーティング設定ができるほか、iOS、Androidでは、デモモードでの動作が可能。
- Wi-FiまたはLAN接続。
- すべてのミックスの管理もパーソナル用のミックスも可能。
- イマーシブ・ミキシングにより、すべての楽器を直感的に配置。



ステレオモード

楽器は耳の間にレイアウトされています。



チャンネルフェーダー

フェーダーハンドルを上げ下げすることでフェーダーのボリュームを増減。チャンネル同士のレベルのバランスを保ちつつ全体のレベルを増減させます。
0.5dBステップ。

グループバランス

チャンネルフェーダーとは対照的に、グループ全体の絶対レベルを直接変更しません。例えば、ギターグループの+をクリックすると、ギターの音量を少し上げると同時に残りの音量を下げるため、全体の音量は同じです。

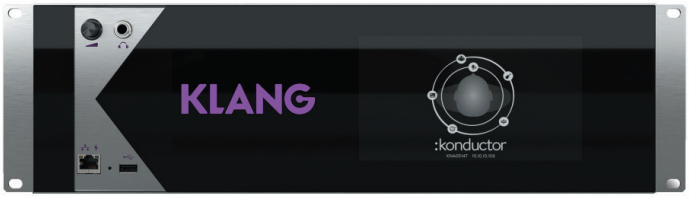
3Dモード／Height

音源を頭の周囲だけでなく上下にも動かすことができます。この画面は、地図のように2Dで展開しており、垂直線は頭の周りの360°の軌道を示し、中央の線が前面、左外側が背面です。中央の水平線が目の高さです。

▼使用例

● Immersive In-Ear Mixing

konductor 3U



- 128入力を96kHzの高音質で最大16人へ送信可能。
- DMIスロットを3つ装備。異なるフォーマットの変換を可能にし、容易に既存のシステムに編入。また、192×192のオーディオ・ネットワークルーターを内蔵しており、イマーシブミックスのエンジン間を自由にルーティング可能。
- レイテンシーが0.25msという驚異的な音響処理能力を実現。
- KLANG:quelleと同じスタジオグレードのヘッドホンアンプ搭載。
- 7インチカラータッチディスプレイを搭載し、ミックスコントロール、オーディオセットアップ、ルーティング、モニタリングメーターを直接操作することが可能。
- リダンダント電源装備。

vokal 1U

vokal+ 1U

- パワフルな超低遅延FPGAコアをベースにした、ハイエンドのイマーシブ・インイヤー・ミキシングプロセッサー。
- 96kHz標準の高音質で、バイノーラル技術による自然なサウンドを最大12人に提供。デイジーチェーンも容易なので、fabrikと組み合わせたり、台数を増やすことでそれ以上の多人数にも対応。
- 入出力のすべてに革新的なRoot-Intensity EQを搭載。
- ミュージシャンは64のDanteとMADI入力から最大24（vokal+は最大64）のモノラルまたはステレオチャンネルを選択可能。
- vokalをアップグレードする有償ソフトウェア「vokal+ Channel Boost Update」を公開。ハードウェアはそのままで、48kHzまたは96kHzにおける入力チャンネル数が64に増加。
- アップグレードを施した、vokal+も用意。

MOD-DMI-KLANG

- KLANGのイマーシブ・ミキシングのコアを、最新のFPGA技術で構築。超高速でパワフルなFPGAにより、1/4ミリ秒のレイテンシーを実現。
- 96kHzの高音質で64chのイマーシブ・インイヤーミックスを、最大16系統提供。
- 他のデバイスやI/Oを追加することなく、任意のオーディオチャンネルをコンソールからDMI-KLANGにルーティング。DiGiCoコンソールで通常のミキシングワークフローを維持しながら、イマーシブ・インイヤーミキシングのすべての利点を享受。
- DiGiCoのOrangeBoxに装着することで、MADIやOptocore、Danteなど任意のフォーマットへ変更可能。
- モニターエンジニアのツアー用パーソナルミキシングからスタジオセッションのレコーディング用ミキシングまで多岐にわたり、疲労感のない質の高いインイヤー・モニタリングを提供。
- DiGiCoのミキシングコンソールからコントロールが可能。

▲DMIカードスロットに装着
左:Orange Box、右:Quantum225

● Personal Monitoring

kontroller

イマーシブサウンドの素早い設定を可能にする パーソナルモニター用ハードウェア・コントローラー

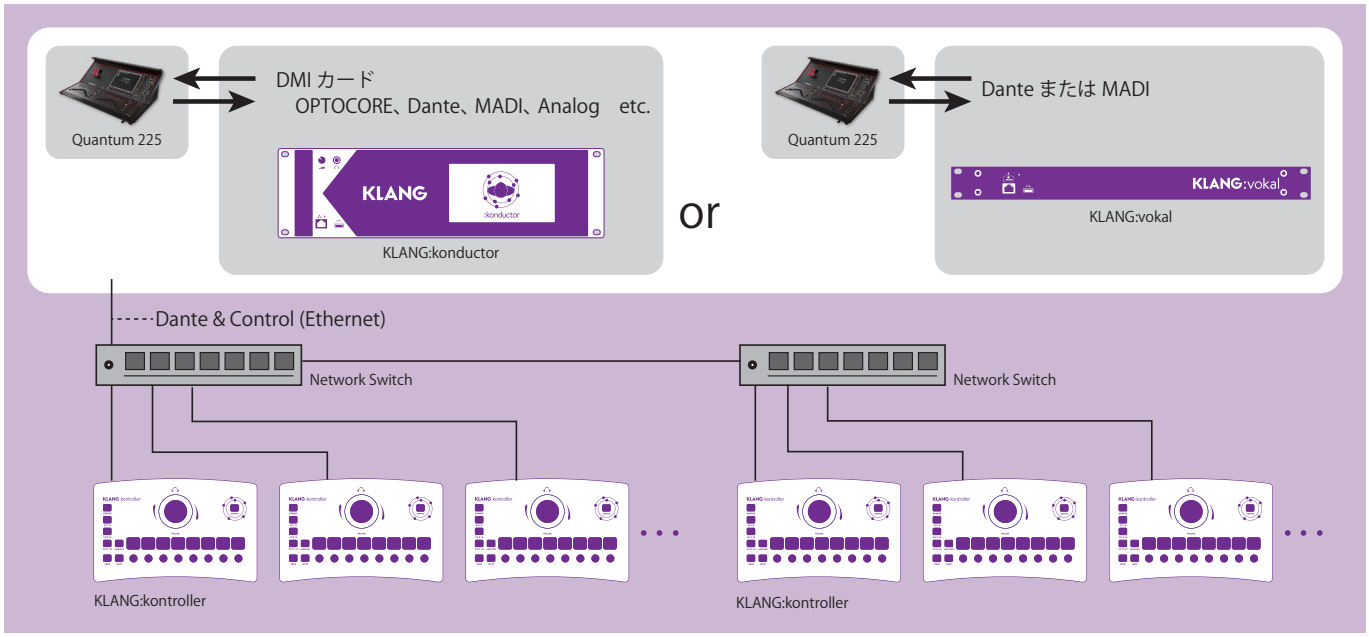
- 直感的なインターフェースにより、イマーシブ・ミキシングを素早くコントロール。従来のCUEボックスのような操作感でフルコントロール可能。
- チャンネル名を表示する8つのディスプレイは色分けが可能。視認性に優れており、それぞれのディスプレイに対応した8つのプッシュ式ロータリーエンコーダーで素早くアクセス。DCAグループミキシングとフル・シングルチャンネルコントロールが可能。
- 96kHz標準の高音質で、スタジオグレードのヘッドホンアンプとともに、インイヤーモニターやハイインピーダンスのヘッドホンにクリアなサウンドを提供。
- 完璧な没入感を得るために、バイノーラルのトゥルーアンビエントマイクをユニット側面に内蔵。
- クリック用トラックやスマートフォンなどの携帯端末からの再生のために、ステレオAUX入力も装備。
- ミックスはDanteネットワークに送り返したり、アンビエントマイクやAUX入力を他のミュージシャンと共有することも可能。
- モニター出力やButtKicker®用の専用バランス出力も装備。
- 既存のKLANG イマーシブ・インイヤー・ミキシングプロセッサのすべてと互換性あり。
- ミュージシャンはkontrollerですべての機能をコントロール可能。エンジニアはappやDiGiCoのSDシリーズ、Quantumシリーズのコンソールですべてのミックスを確認、コントロール可能。
  ※DiGiCoコンソールにMOD-DMI-KLANGカードの装着が必要。
- kontrollerはスタンドアローンとしての使用はもちろん、裏面のねじ穴を利用してマイクスタンドにマウント可能。ミュージシャンの近くに設置することができます。

quelle

コンパクトなシャーシのヘッドホンアンプ。

- 4ステレオのDanteネットワークに対応したヘッドホンアンプ。
- 低インピーダンスイヤホンに適したプレミアムコンバーターを搭載。歪みのない、クリスタルクリアなサウンドを提供。
- コンパクトなシャーシで高品位なサウンドを提供。
- PoEにも対応。

KLANG:kontrollerをキューボックスとしてミュージシャンにセットアップする一例



迅速なセットアップでサウンドチェックを円滑に。シンプルでコストパフォーマンスの高いパーソナル・モニタリングシステム。

ALLEN & HEATHの「MEパーソナル・ミキシングシステム」は、ミュージシャンが自分のモニターミックスをコントロールできるシステムです。それぞれに最適な設定が可能で、操作は直感的かつエレガント。シンプルなコントロールと迅速なセットアップが可能な、信頼性の高いシステムです。

ALLEN&HEATH

ME PERSONAL MIXING SYSTEM

ME-1

40chパーソナルミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた40の入力
- 調光可能な有機ELスクリーンと16×バックライト付きアサイナブルキー
- コンソールのバスを使用せずにME-1内でグループ化が可能
- レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。
- プリセットはUSBに保存して、任意のME-1ユニットで呼び出すことも可能。
- すべてのチャンネルとグループにカスタムネームを表示。
- マスター3バンドEQとリミッターを搭載
- MP3プレーヤー、クリックトラックなどのAUX入力を装備
- アンビエントマイク、シグナルジェネレーター搭載
- ヘッドホン出力（TRS,ミニ）
- マイクスタンドブラケット、ヘッドホンハンガー付属
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用

ME-500

16chパーソナル・ミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた16モノラル/16ステレオ入力
- マスター2バンドEQとリミッターを搭載
- ミキサーからアサインされた最初の16個のモノラル/ステレオチャンネル、およびミックスは、16個のセレクトキーに自動的に割り当て
- 8ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存でき、他のME-500へ簡単に転送可能。
- ヘッドホン出力（TRS,ミニ）
- ソロ、ミュートキー
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用
- マイクスタンドブラケットとヘッドホンハンガーは別売りです。

※ME-1とME-500は既存のAviom® Pro 16システムとドロップインで交換でき、システムの拡張や旧型のパーソナルミキサーとの置き換えに使用できます。

ME-1とME-500どちらを選ぶ？

似たような外見のME-1とME-500ですが、ユーザーやシチュエーションにより使い方が異なります。

チャンネル数が多くリハーサル時間が十分にあるショー、専属のアーティストが常駐する結婚式場や多目的ホールでは、ME-1を使用することで、エンジニアは各アーティストの好みやニーズを完璧に反映させて各ユニットを構成できます。

フェスティバルなどエンジニアとアーティストのサウンドチェックの時間が限られている場合、または予算が限られている場合やチャンネル数が少ない場合には、ME500がお勧めです。最小限の手間でショーを立ち上げることができます。

ME-U 2U

パラレル接続用10ポートPoEモニターハブ

- ロッキング機能付きEthernconコネクターを10ポート搭載
- 各ポートからME-1またはME-500に電源と音声を供給。ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。
- 2つのハブをリンクしてポートを増設
- ツアリンググレードの高品質
- ラックマウント可能（2U）
- ユニット名とIPアドレスをブラウザで設定し、チャンネル名を手動で入力可能
- オプションカードも用意することで、他社のデジタルコンソールとの接続も可能

OPTION Card オプションカード

M-MADI2-A

ME-U用MADIインターフェースカード。48kHz対応。64MADI、2MADI I/O（BNC）、1BNCコネクタ（AUX BNC）。

M-Dante

ME-U用Danteインターフェースカード。64×64入出力、48kHz対応、RJ45ポート（Control Network、Dante Primary / Secondary）。

MOD-DMI-ME

MEパーソナル・ミキシングシステムを使用するには、DMIスロット装備のDiGiCoコンソールに「MOD-DMI-ME」カードを挿入する必要があります。

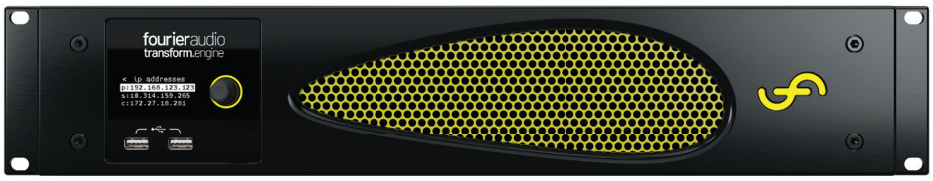
Run VST3-native software plugins in LIVE environments

“transform.engine”はVST3プラグインを
ライブ環境でリアルタイムに運用できる革新的なサーバー。
必要なプラグインをライブサウンドで自由に使用でき、
絶対的なベストサウンドを生み出す必須アイテムとなります。

transform.engineは、VST3ネイティブのソフトウェアプラグインをライブ環境で実行するサーバーです。異なるブランドのVST3プラグインをシンプルに組み込むことができるため、ショーを形作る音作りの選択肢を大幅に増やします。オーディオ・ソフトウェア・エンジンは、万が一プラグインがクラッシュしてもそのほかのPlugin Chainに影響はなく、即座にそのプラグインを再起動して本来の状態に素早く復元。信頼性のある高いパフォーマンスを維持しながら低レイテンシーを実現しており、エンジニアのストレスなくオーディエンスにベストサウンドを提供できます。

fourieraudio

transform.engine 2U

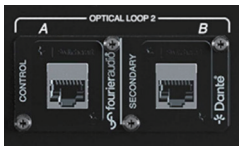


- Dante接続が可能なすべてのプロフェッショナル・デジタルコンソールで動作。標準的なEtherConギガビットネットワークケーブルによる簡単接続。
- VST3プラグインをオフラインでインストール・ライセンスマネジメント可能。
- 最大96kHz、64ch。
- 設定用のリモートコントロールアプリ「transform.client」を用意。
  ※Mac OS11以降（M1/Intelチップに対応）、Windows 10以降
- 過酷なライブに対応できるよう、特別に設計された2Uのツアリンググレードの筐体を採用。
- デュアルリダンダント電源搭載。
- MIDIの入出力端子も装備。

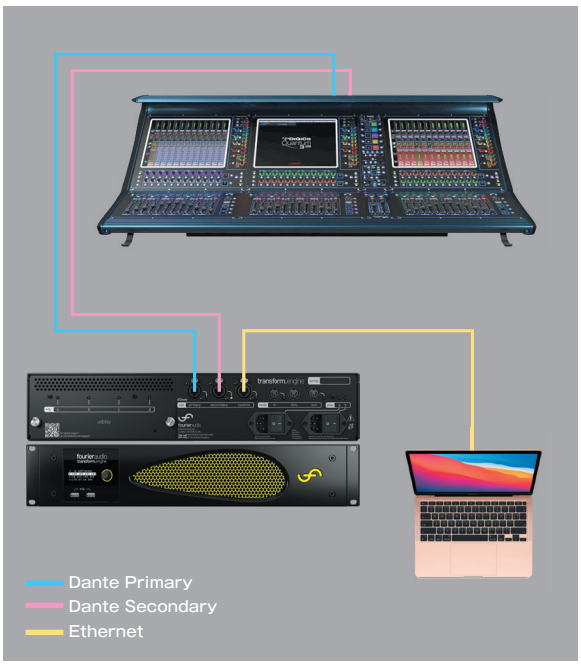
Fourier Interface Card

オプションで、DiGiCoコンソールの背面に「Fourier Interface Card」を搭載できます。
transform.engineの接続に利用できるほか、DanteのI/OとしてDante対応機器との接続に使用可能。

Quantum338の背面に搭載されたFourier Interface Card



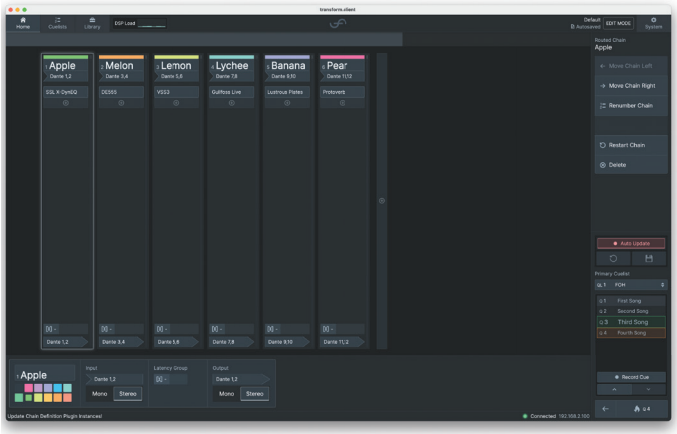
◆対象機種
Quantum852、7、5、338/326、225
※Dante Pri、Sec、Controlポートを搭載
SD10、9、11
※Dante Primaryシングルポートのみ



EtherConケーブルのみでシンプルな設定が可能

transform.clientの画面　一例

Plugin Chain画面

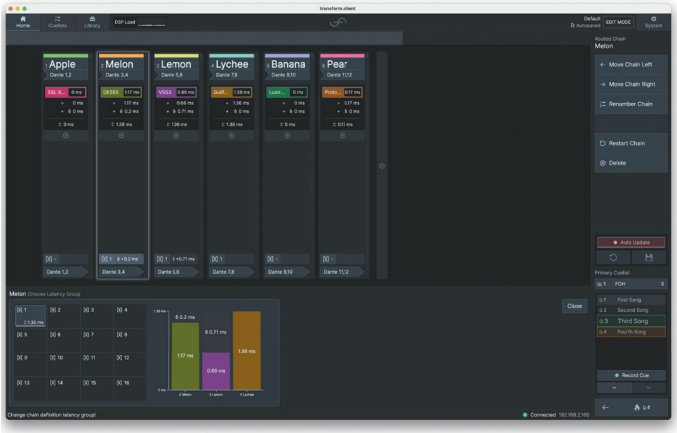


シンプルで操作性の良いUIのレイアウト。
必要な分だけChainを追加し、プラグインをコントロールできます。
インサートされたプラグイン状況、それぞれのChain名、現状のレイテンシーなど、
各インフォメーションが同一画面でモニタリング可能。

Plugin View画面

必要に応じて操作したいプラグインを展開。
画面上でプラグインをダブルクリックするか、プラグインを選択して「プラグインビューを開く」をクリックすると、プラグインのUIが開き、アプローチできます。
プラグインビューの右上にある最大化ボタンを選択することで、プラグインビューを拡大することも可能。

Delay Compensation（ディレイ補正）画面



Delay Compensationは、例えばドラムキットのように、Chainのセットを整列させたい場合に便利です。
transform.engineには16のレイテンシー・グループがあり、Plugin Chainを自由にグループ化できます。
レイテンシーグループごとに色別で可視化され、認識しやすく表示します。

Fourier Audio Japan YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/@FourierAudioJapan

◀字幕付き動画解説

transform:engine紹介動画

Relationship based on cooperation

MGB　BNC端子

MGO　オプチカル端子（SFP光カートリッジ）

- MADIに対応するデバイスをSoundGridに変換するインターフェース。CAT6ケーブルでコンピューターに接続することでMADIの信号へ直接アクセスが可能。
- 2系統のMADI I/Oからコンピューター上のDAWを接続することで、最大128chのレコーディングとプレイバックの同時運用が可能。
  ※128chの録音/再生（48kHz時）、64chの録音/再生（96kHz時）
- レイテンシー0.8msの高性能。
- ルーティングを簡潔にするうえ、汎用のギガビットスイッチを使用すれば2台のPCで同時にサウンドチェックとバックアップが可能。
- MADIに対応するデバイスとの接続
  MGB：BNC端子　**MGO**：オプチカル端子（SFP光カートリッジ）
- ASIOとCore Audioに準拠。

仕　様	MGB	MGO
端子	MADIコアキシャルI/O（BNC端子）	MADIオプチカルI/O（SFP光カートリッジ）
対応サンプリングレート	44.1/48/88.2/96kHz	
同時使用可能チャンネル	112/128チャンネルI/O@48kHz 56/64チャンネルI/O@96kHz	
チャンネルモード	56ch/64ch	
ワイヤー構成	–	ダブルモード@48kHz シングルモード@96kHz
クロック同期	ワードクロック、MADI（Port 1 or 2）、SoundGrid（SoE）、インターナル	
ネットワーク端子	1×Ethernetポート（RJ45）	

“DiGiGrid”とは、DiGiCo社と世界最大のプラグイン・ディベロッパーであるWaves社が共同で立ち上げた新ブランドです。SoundGridに対応した新しいハードウェア製品を提供。革新的なオーディオ・インターフェースにより複数のDAWやデバイスに自由に接続。数百にのぼるプラグインの同時走行を可能にした高性能は、ライブだけでなくレコーディングにもおよび、高い品質と利便性をもたらします。

※DiGiGridの「MGB」「MGO」は、株式会社メディア・インテグレーションの取り扱いです。
株式会社メディア・インテグレーション：www.minet.jp

Waves アップグレードキット

SuperRack

- DiGiCoコンソールには、オプションでWaves社のプラグインテクノロジー“Waves SoundGrid”に対応できるアップグレードキットを用意。専用のプロセッシングサーバーと接続し、Waves社の豊富なプラグインエフェクトを使用できます。
- Wavesのプラグインを使用するには、各DiGiCoコンソールに対応するアップグレードキットが必要です。

SD11i：WAVES-SD11　Quantum338:WAVES-Q3
SD9：WAVES-SD9　Quantum225:WAVES-Q2
SD8：WAVES-SD8　SD12-96
SD10：WAVES-SD10　S21,S31
└ DMIカード（→p.34）

※Quantum7/5は、標準でWavesポートを装備。
※Quantum852/338/326/225は、発注時にオプションでWavesポートを装備可能。
※Wavesアップグレードキットは、SoundGrid I/Oカード、CAT6ケーブル（2m）で構成されます。プロセッシングサーバー（SoundGrid Server）とプラグインは含まれません。

- プラグインをコントロールするアプリケーション“SuperRack SoundGrid”がインストールされたPCをコンソールのネットワークに接続すると、コンソール画面からプラグインをコントロールできます。

1992年、最初のオーディオプラグインを発表以来、めざましい成長を遂げ、現在では、世界中の多くのスタジオにスタンダードプラグインとして導入されています。これらのプラグインは、心理音響学技術に基づくWaves独自のDSPアルゴリズムを採用し、比類ない音質を実現しています。

デジタルネットワークデバイス

DD2FR-FX

■ オプチカルMADIデジタルオーディオ
光伝送ユニット

デジタルネットワークデバイス

DD4MR-FX

■ 同軸MADIデジタルオーディオ
光伝送ユニット

デジタルネットワークデバイス

DD32R-FX

■ AESデジタルオーディオ
光伝送ユニット

16chコンバーターユニット

X6R-FX シリーズ

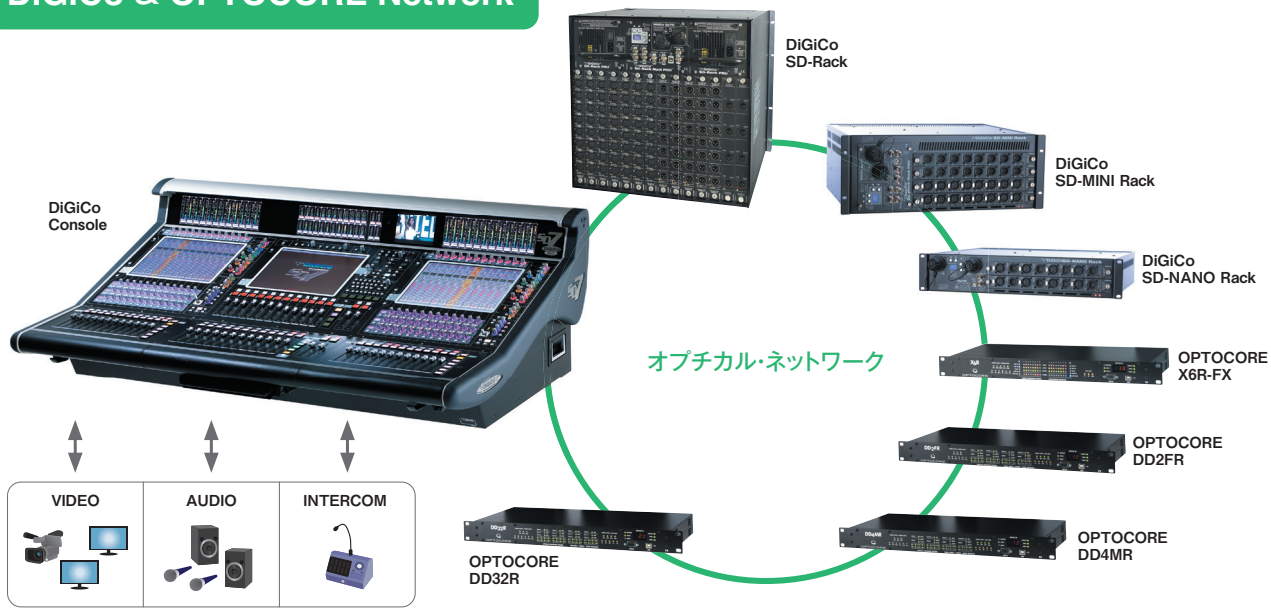
■ アナログコンバーター
全7機種。

自動パッチベイ

AutoRouter

AutoRouterは、DiGiCoの光伝送システムに対応し、リダンダント可能な「スター」接続を作る自動パッチベイ。デバイスの接続が切れたり電源が落ちると、自動的にループを閉じ、リダンダントを確立します。

DiGiCo & OPTOCORE Network



OPTOCOREは、オーディオ信号、ビデオ信号、制御データー、ワードクロックなどの長距離伝送を可能にする完全同期光ネットワークシステムです。様々なOPTOCORE製品を組み合わせることで、機器の配置・チャンネル数・伝送する信号の種類などフレキシブルに選択できます。

※OPTOCORE製品は、株式会社ATL-KYOEIの取り扱いです。
株式会社ATL-KYOEI：http://www.atl.co.jp

Product Comparison

仕　様

		Quantum852	Quantum7	Quantum5	Quantum338	Quantum326
入出力性能	フェーダー数	40	38	37	38	26
	サブフェーダー数	12	14	—		
	入力チャンネル	384ch	256ch		128ch/156※※	
	バス	最大192ch (AUX/GRPの総計)	最大128ch (AUX/GRPの総計)		最大64ch/最大72ch※※ (AUX/GRPの総計)	
	ソロバス	2(True Solo付き)				
	マトリクス	最大64×64	最大48×48	最大36×36	最大24×24	
	コントロールグループ	選択式(VCA、ムービングフェーダー、 ミュートグループ)×36			選択式(VCA、ムービングフェーダー、 ミュートグループ)×24	
	イコライザー	32バンドGEQ(±12dB)×48		32バンドGEQ(±12dB)×32	32バンドGEQ(±12dB)×24	
	内蔵エフェクター	48(+Spice Rack:32モノ/16ステレオ)	48(+Spice Rack:16モノ/8ステレオ)	36(+Spice Rack:12モノ/6ステレオ)	24(+Spice Rack:8モノ/4ステレオ)	
	ローカルI/O マイク/ライン入力	12		8		
	ローカルI/O ライン出力	12		8		
	ローカルI/O AES/EBU入出力※	12	6	4		
	MADIインターフェース	4 (75ΩBNCコネクター×16リダンダント含む)※リダンダントエンジンにも同数搭載		4 (75ΩBNCコネクター×16 リダンダント含む)	3 (75ΩBNCコネクター×12 リダンダント含む)	
	オプチカル(Optocore)インターフェース	1 ※リダンダントエンジンにも同数搭載		1		
	MIDIインターフェース	In / Out / Thru				
	外部ディスプレイポート	Displayport×1 ※リダンダントエンジンにも同数搭載	DVI×1 (HDMIに対応するディスプレイをご使用ください) ※リダンダントエンジンにも同数搭載	Displayport×1		
	外部同期	ワードクロック、MADI、AES、オプチカル、Video			ワードクロック、MADI、AES、オプチカル	
	USB2.0 ポート	5(USB3.0ポート×2) ※リダンダントエンジン含む	3※リダンダントエンジンを含む	3	5※うち1つは、5Vのバスパワー専用	
	GPI	通常16系統(32系統まで拡張可能)				
	GPO	通常16系統(32系統まで拡張可能)				
	ヘッドホン出力	標準フォーンジャック×2、 ミニジャック×2	標準フォーンジャック×2、 インピーダンス:8~600Ω		標準フォーンジャック×2、 ミニジャック×2	
	ライト端子	—				
音響特性	サンプリングレート	96/48kHz				
	レイテンシー	TBC	1.1ms(代表値:チャンネル入力→LRバス→ステージ出力@96kHz)		1ms(代表値:チャンネル入力→LRバス→ステージ出力@96kHz)	
	内部プロセッシング	最大40bitフローティングポイント演算				
	AD/DA変換	32bit	24bit		32bit	
	周波数特性	TBC	20Hz~20kHz(±0.6dB)		20Hz~20kHz(±0.15dB)	
	THD+N	TBC	0.05%以下 (定格ゲイン、10dB入力@1kHz)		0.002%以下 (定格ゲイン、0dB入力@1kHz)	
	クロストーク	TBC	90dB以上(40Hz~15kHz)		120dB以上(40Hz~15kHz)	
	残留ノイズ	TBC	−90dBu以下(代表値:20Hz~20kHz)		−100dBu以下(代表値:20Hz~20kHz)	
	マイク等価入力ノイズ	TBC	−126dB以上		−128dB以上	
	最大出力レベル	TBC	+22dBu(標準仕様)			
	最大入力レベル	TBC	+22dBu(標準仕様)			
入力チャンネル/AUX/グループ/マトリクス	アナログゲイン(入力チャンネルのみ)	−20dB~+60dB				
	デジタルトリム	−40dB~+40dB				
	ディレイ	最大1.3秒			—	
	ローパス/ハイパスフィルター	20Hz~20kHz、24dB/oct				
	インサート	2系統(EQ/ダイナミクスのプリ/ポスト)				
	パラメトリックEQ	8バンド			4バンド	
	ダイナミックEQ	1030ch	694ch	458ch	286ch/330ch※※	
	ダイナミクス	コンプレッサー、ゲート、ディエッサー、ダッカー				
	ソロバス	ソロバス1/ソロバス2/両方、オートソロ				
	Nodal Processing	384	256	128	64/72※※	
	Mustard Processing	128	64	48	36/48※※	
最大ラック数		14 (2ループ組む場合は28)	24 2ループ組む場合は38		22 2ループ組む場合は36	
DMIスロット		4		2		
UB-MADI(サンプリングレート48kHz時)		—	48ch			
電源		内部電源×2(AC100V、50/60Hz)				
消費電力	ピーク時	TBC	600W	635W	345W	
消費電力	起動時	TBC	650W	795W	315W	
寸法(W×H×D)		1767×607×1075mm	1496×509×931mm	1465×458×838mm	1595×482×805mm	1124×482×805mm
質量		120kg	141kg	116kg	70kg	52kg

※ コネクター系統数。1コネクター系統あたり、2chの入出力の使用が可能。　※※ Pulseアップグレード

	SD10 Core2	SD12-96	Quantum225	SD9 Core2	SD11i Core2	S21	S31
	37	24+2	25	24	12	20+1	30+1
	—						
	144ch	96ch	72ch/96ch※※	96ch	80ch	48ch（全チャンネルモノ/ステレオ切替可能）	
	64ch （AUX/GRPの総計）	48ch （AUX/GRPの総計）	最大36ch/最大48ch※※ （AUX/GRPの総計）	48ch （AUX/GRPの総計）	24ch （AUX/GRPの総計）	16ch （モノ/ステレオ+LRマスター）	
	2		2（True Solo付き）	2		ステレオ×2	
	最大24×24	最大12×8	最大12×12	最大12×8		最大10×8	
	選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）×24	選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）×12			選択式（VCA、ムービングフェーダー、ミュートグループ）×8	10	
	32バンドGEQ（±12dB）×24	32バンドGEQ（±12dB）×16	32バンドGEQ×16	32バンドGEQ（±12dB）×16	32バンドGEQ （±12dB）×12	4バンドEQ（±18dB）	
	ステレオエフェクター×24	ステレオエフェクター×12			ステレオエフェクター×8		
	8				16	24	
	8					12	
	4		4（8ch）	2	1		
	2 （75ΩBNCコネクター×8 リダンダント含む）	2 （75ΩBNCコネクター×4）	2 （75ΩBNCコネクター×8 リダンダント含む）	1（75ΩBNCコネクター×2） 1（CAT5コネクター）		—	
	1（仕様による）	オプション（2ループ）	1	1（オプション）		—	
	In / Out / Thru					—	
	VGA DB-15 ミニメス （解像度1024×768）×1	DVI （HDMIに対応するディスプレイを ご使用ください）	DisplayPort	VGA DB-15 ミニメス（解像度1024×768）×1		DVI （HDMIに対応するディスプレイをご使用ください）	
	ワードクロック、MADI、AES、オプチカル		ワードクロック、MADI、オプチカル	ワードクロック、MADI		ワードクロック、AES/EBU DMIカード経由の同期も可能（カードの仕様による）	
	3	5	5※うち1つは、5Vのバスパワー専用	3			
	通常16系統（32系統まで拡張可能）		2	1/4インチジャック×2		1/4インチジャック×1	
	通常16系統（32系統まで拡張可能）		2	1/4インチジャック×2		1/4インチジャック×1	
	標準フォーンジャック×1、 インピーダンス：8~600Ω	標準フォーンジャック×1、 ミニジャック×1		標準フォーンジャック×1、 インピーダンス：8~600Ω	標準フォーンジャック×2、 インピーダンス：8~600Ω	標準フォーンジャック×1、 ミニジャック×1	
	XLR3：1.2~12V×2	—		XLR3：1.2~12V×2	XLR3：1.2~12V×1	—	
	96/48kHz						
	1.1ms（代表値:チャンネル入力→LRバス→ステージ出力@96kHz）		TBC	2ms（代表値）		1.1ms@96kHz、2ms@48kHz	
	最大40bitフローティングポイント演算						
	24bit						
	20Hz~20kHz（±0.6dB）		20Hz~20kHz（±0.2dB）	20Hz~20kHz（±0.6dB）			
	0.05%以下 （定格ゲイン、10dB入力@1kHz）		0.001	0.05%以下 （定格ゲイン、10dB入力@1kHz）			
	90dB以上（40Hz~15kHz）		−120dB	90dB以上（40Hz~15kHz）			
	−90dBu以下（代表値：20Hz~20kHz）		−95dBu	−90dBu以下（代表値：20Hz~20kHz）			
	−126dB以上		−126dB以上	−126dB以上			
	+22dBu（標準仕様）		TBC	+22dBu（標準仕様）			
	+22dBu（標準仕様）		TBC	+26dBu		+22dBu（標準仕様）	
	−20dB~+60dB			+10dB~+60dB（−20dB PAD）		−20dB~+60dB	
	−40dB~+40dB						
	最大1.3秒		—	最大1.3秒		最大682ms	
	20Hz~20kHz、24dB/oct						
	2系統（EQ/ダイナミクスのプリ/ポスト）					2系統（EQ/ダイナミクスのプリ）	
	8バンド	4バンド					
	218ch	119ch	155ch/207ch※※	155ch	115ch	—（4ch対応予定）	
	コンプレッサー、ゲート、ディエッサー、ダッカー					コンプレッサー、ゲート、ダッカー	
	ソロバス1/ソロバス2/両方、オートソロ	ソロバス1/ソロバス2/両方	ソロバス1/ソロバス2/両方、オートソロ			ソロバス1/ソロバス2/両方	
	—	—	32/48※※	—			
	—	—	24/36※※	—			
	16	16 2ループ組む場合は30	20 2ループ組む場合は34	17	16	2 DMIスロットを2つ使用した場合	
	—	2		—	—	2	
	—	48ch		—	—	48ch（40flex）	
	内部電源×2（AC100V、50/60Hz）				内部電源×1（AC100V、50/60Hz）	内部電源（AC100V、50/60Hz）	
	300W	225W	175W	195W	175W	125W	135W
	300W	200W	180W	225W	195W	185W	195W
	1398×285×818mm	1124×389×795mm	1124×436×801mm	878×258×785mm	483×232×577mm	763×295×586mm	1023×295×586mm
	60kg	42kg	43kg	36kg	22.2kg（アームレストなし）	19kg	25kg

DiGiCo

HIBINO
https://www.hibino-intersound.co.jp/

ヒビノインターサウンド株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70
TEL：03-5419-1560 FAX：03-5419-1563
E-mail：info@hibino-intersound.co.jp